

はじめに別紙の「クイックセットアップガイド(カラー折り込み)」をご覧ください。



テ レ ポ ー ト

TelePort 301G

Multimedia TeleCommunication System

取扱説明書

ご注意

本書の内容の一部または、全部を無断転載することは禁止されています。 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。 本書の内容について万全を期して作成しましたが、万が一不審な点や誤り、記載もれなど、お気づきのことがございましたら、ご一報くださいますようお願い致します。 運用した結果の影響については、上記項に関わらず、責任を負いかねますのでご了承下さい。 高い信頼性を要求されるシステムで 사용되는場合、システム側にてリカバリーやバックアップなどの万が一の故障に対する適切な処置を講じた上でご使用願います。

認定番号 COO-1146JP

もくじ

はじめに

● STEP-1 セットアップ編

- ① **TelePort** を設置しましょう 9
- ② 会員情報の登録をしましょう 19

● STEP-2 基本操作編

- ① ギンガネットのサービスについて 27
- ② ダイレクトネットサービスを利用してみましょう 33
- ③ ミーティングネットサービスを利用してみましょう 36
- ④ プラザネットサービスを利用してみましょう 37

● STEP-3 活用編

- ① **TelePort** を使いこなしましょう 39
- ② 便利なかけ方 44
- ③ アイコンを使いこなしましょう 48

● 付録

- ① 困った時は 62
- ② 用語集 66
- ③ よくある質問とその回答 68
- ④ オプション一覧 69
- ⑤ 主な仕様 70

保証書

はじめに

このたびは「TelePort 301」または「TelePort 301G」(以下本書ではTelePortと呼びます)をお買い上げ頂きまして、誠にありがとうございます。TelePortを正しくお使い頂くために、この取扱説明書をよくお読み下さい。

使用上の環境をご確認下さい

① 回線を準備しましょう

ギンガネット電話「TelePort」は、「ISDN回線」が必要になります。
以下の内容をよくお読みの上、必要な通信回線をご用意下さい。

- ・ISDN回線は、高品質で安定したデジタル回線です。
- ・1回線で従来の電話回線2本分を使用できます。
- ・通信料金は従量制なので、使った分の通信料だけがかかります。
- ・一般電話・携帯電話・PHSともつながります。


TelePortの通信には、ISDN1回線分すべて(従来の電話回線2本分)を使用します。TelePortを使用している間は、電話やインターネットを同時にご利用頂くことができません。TelePortを使用している間にかかってきた電話の着信履歴を残したい場合には、NTTの「通信中着信通知サービス」のご利用をお勧めします。さらに相手のメッセージを残したい場合は、NTTの「マジックボックス」というサービスもございます。詳しくはNTT(116)へお問い合わせ下さい。

TelePortの接続にはS/T端子があるTA(DSU)が必要です。ご不明な方はお持ちのTA(DSU)のメーカー名と型番をギンガネットテクニカルサポート(06-7688-1717)までお知らせ頂ければ、お調べ致します。

ギンガネットセンターでは、NTT「INSネット64コンサルティング」申し込み・NTT「INSメイトV30Sim」購入のお取次ぎを致します。詳しくは、ギンガネットセンター(06-7688-1010)までお問合せ下さい。

② 設置場所を選びましょう

設置場所には、なるべく音の静かな場所をお選び下さい。カメラの背景は、明るめの単一色で統一するときれいに映ります。背後に人通りが多いと、カメラ映りが悪くなることがありますので、ご注意下さい。

カメラ調整でさらに映りをきれいに調節することが出来ます。( 52「映像音声設定」)

③ 以下の環境では、通信中に映像や音声が乱れたり、途切れたり、回線が切断されたりすることがあります。

(1) TA(DSU)とNTTの間で、配線を分岐させている。

お客様の知らない間に、配線が分岐された状態になっているケースがありますので、以下 ~ のような場合は、お客様から各サービス会社へ、通信形態の変更を通知して下さい。

自動ガス検針器や警備システムを設置している。

衛星放送・ケーブルテレビの課金システムが同じ回線を使用している。


ドアホン・ホームテレホンや内線電話(コードレスタイプを除く)・ビジネスホンなどを使用している。

(2) たこ足配線をしている。

(電源タップや延長コードを使って、同じコンセントにいくつも電源ケーブルをつないでいる)

電子レンジや冷蔵庫などの電化製品がたこ足配線になっていると、これらがノイズの発生源となることがあります。たこ足配線を少なくしたり、直接コンセントに接続するようにして下さい。

(3) モジュラケーブル(電話線)が長過ぎる。

モジュラケーブルは、回線ノイズが入りやすい構造をしています。従って、このケーブルを延長するとノイズも増加します。TelePortの設置場所と、回線への接続部分が離れている場合などは、モジュラケーブルではなく、「回線ケーブル」を延長するようにして下さい。( 66「用語集-モジュラケーブル」)

ご不明な点がございましたら、各サービス会社の担当者からギンガネットテクニカルサポート(06-7688-1717)までお問い合わせ頂いても結構です。

表記について

この取り扱い説明書では、3種類の記号を使って説明しています。それぞれの意味は以下の通りです。



…参照ページ



…注意点



…ワンポイント

安全上のご注意

この「安全上のご注意」は、製品を安全に正しくお使い頂き、お客様や他の人々への危害や、財産への損害を未然に防止するために、守って頂きたい事項を記載しています。本文で使用している表示と図記号の意味は次の通りです。本文をよく理解してからお使い下さい。



シグナルマークのご説明

このシグナルマークは、社団法人日本電子工業振興協会で定められた警告表示を示します。このシグナルマークは、本製品をご使用頂く際にご注意頂く内容を説明しておりますので、製品使用前に必ずお読み下さい。シグナルマークで指示された内容については、必ずお守り下さい。

指示を無視した取り扱いを行いますと、警告表示された危険が発生する恐れがあります。

警告表示の種類

種類	危険度
	誤った取り扱いによって、発煙または発火の可能性が想定されることを示しています。
	誤った取り扱いによって、感電の可能性が想定されることを示しています。
	誤った取り扱いによって、けがを負う可能性が想定されることを示しています。
	誤った取り扱いによって、高温による障害の可能性が想定されることを示しています。
	安全のため、電源ケーブルのプラグを必ず抜くように指示するものです。
	安全のため、アース線を必ず接続するように指示するものです。



警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

電源に関する警告

 	<p>電源はAC100V ± 10V (50/60Hz) の家庭用電源以外では、絶対に使用しないで下さい。異なる電圧で使用すると火災、感電、故障の原因となります。</p> <p>電源プラグはコンセントに確実に差し込んで下さい。電源プラグの刃に金属などが触れると火災、感電の原因となります。</p> <p>電源プラグの上に物を乗せないで下さい。コード損傷により火災、感電、故障の原因となります。</p> <p>電源コードの接続は、テーブルタップや分岐コンセント、分岐ソケットを使用したこ足配線にしないで下さい。コンセントが過熱し、火災、感電、故障の原因となります。</p> <p>電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないで下さい。火災、感電、故障の原因となります。</p>
------	--

保管および使用環境に関する警告



本機を風呂場や加湿器のそばなど、湿度の高い所では使用しないで下さい。火災、感電、故障の原因となります。
設置環境条件は温度5～35 /湿度20～80%です。(結露しないようご注意ください)

禁止事項



本機の上や近くに花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品など液体の入った容器を置かないで下さい。液体がこぼれたり、中に入ったりした場合、火災、感電、故障の原因となります。

アースケーブルは、絶対にガス管につながらないで下さい。

当社サービスマン以外は、本機を分解・改造しないで下さい。火災、感電、故障の原因となります。

当社サービスマン以外は、本機内部の点検、調整、掃除、修理は、危険ですから絶対にしないで下さい。本機の内部には電圧の高い部分があり、火災、感電の原因となります。

本機内部の点検、調整、掃除、修理は、ギンガネット正規保守サービス窓口 に依頼して下さい。

異常時およびトラブル時の警告



万一、本機の内部に水等が入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いて、ギンガネット正規保守サービス窓口にご連絡下さい。そのまま使用すると火災、感電、故障の原因となります。

万一、本機を落したり、破損したりした場合、電源プラグをコンセントから抜いて、ギンガネット正規保守サービス窓口にご連絡下さい。そのまま使用すると火災、感電、故障の原因となります。

万一、煙が出ている、変な臭いがするなどの異常状態のときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜き、煙が出なくなるのを確認してから、ギンガネット正規保守サービス窓口 に修理をご依頼下さい。そのまま使用すると火災、感電、故障の原因となります。お客様による修理は危険ですので絶対におやめ下さい。

電源コード等が傷んだときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、ギンガネット正規保守サービス窓口 に交換をご依頼下さい。そのまま使用すると火災、感電、故障の原因となります。



注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的傷害が想定される内容を示しています。

電源に関する注意



電源プラグを抜く時は、必ずプラグを持って抜いて下さい。コードの損傷による火災、感電の原因となることがあります。

濡れた手で電源プラグを抜き差ししないで下さい。感電の原因となることがあります。

電源プラグをコンセントに接続しているときは、濡れた手で本体に触らないで下さい。感電の原因となることがあります。機器を接続する場合には、必ず電源プラグをコンセントから抜いて下さい。電源プラグをコンセントに接続したまま機器を接続すると、感電の原因となることがあります。

保管および使用環境の注意



本機を油飛びや湯気があたるような場所、ほこりの多い場所に置かないで下さい。火災、感電、故障の原因となることがあります。

本機を直射日光の当たるところや、温度の高いところ（35℃以上）に置かないで下さい。内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。

本機を不安定な場所（ぐらついた台の上や傾いた所など）に置かないで下さい。落ちてけがの原因となることがあります。

本機を振動、衝撃の多い場所に置かないで下さい。落ちてけがの原因となることがあります。

付属品を本機に接続しておく場合は、接続部分に上下方向からの圧力がかからないように注意して下さい。故障の原因となることがあります。

ラジオやテレビが受信している付近で使用しないで下さい。ラジオやテレビにノイズが入ったり、本機の動作が異常になることがあります。

本機をテレビに接続した状態でテレビ放送を受信すると、画面にノイズの入ることがあります。このような場合、本機の電源をオフにしてご使用下さい。

本機は、空冷のため、本機の通気孔に物を置かないで下さい。内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。

側面を5cm以上空けて下さい。

禁止事項



本機や電源コードを火気やストーブなどの熱器具に近づけないで下さい。キャビネットや電源コードの被覆が溶けて、火災、感電、故障の原因となることがあります。

本機の通気孔などの開口部から内部に金属類や燃えやすい物などの異物を入れないで下さい。そのまま使用すると火災、感電、故障の原因となることがあります。

本機の上に乗ったりしないで下さい。壊れてけがの原因となることがあります。

本機の使用直後は、装置内部に発熱する部分があるため、手を触れるとやけどをする恐れがあります。

異常時およびトラブル時の注意



落雷のおそれのあるときは、本機の電源をオフにし、必ず電源プラグをコンセントから抜いて使用をお控え下さい。雷によって、火災、感電、故障の原因となることがあります。雷が鳴っているときは、電源プラグに触れたり、機器を接続したりしないで下さい。感電の原因となることがあります。

お手入れに関する注意



本機のお手入れの際は、安全のために電源プラグをコンセントから抜いて行って下さい。アース線を接続しないと、感電、故障の原因となります。

ベンジン、シンナーなど揮発性の薬品では拭かないで下さい。変形、変色の原因となります。汚れがひどいときは、柔らかい布に水または中性洗剤を含ませて軽く拭いて下さい。

廃棄時のご注意

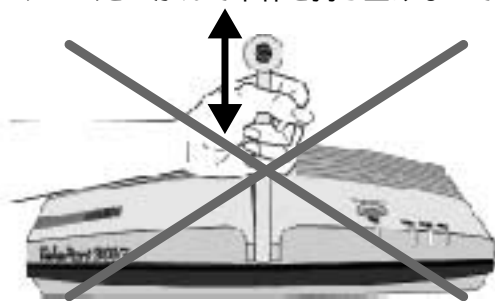
本機器を廃棄する時は、地方自治体の条例に従って処理して下さい。詳しくは、各地方自治体へお問合せ頂くか、ギンガネット正規保守サービス窓口にご依頼下さい。

カメラアーム部取り扱いのご注意

使用後は必ず収納して下さい。

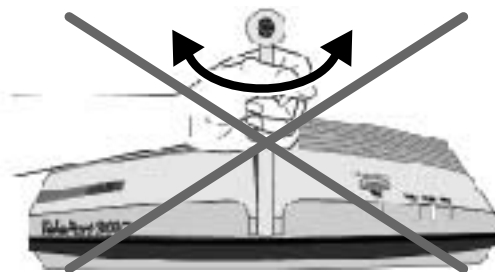
内蔵カメラは使用後に必ず元通りに収納するようにして下さい。起こしたままにすると、ぶついたり、落としたりした際に破損する恐れがあります。

アームをつかんで本体を持ち上げないで下さい。



アーム部が破損する恐れがあります。カメラアームをつかんで本体を持ち上げたり、移動させたりしないで下さい。

カメラを左右に振ることはできません。



カメラ部は上下に動かしますが、左右に振ることはできません。ご注意下さい。

テレビの上へ設置する際のご注意

添付のマジックテープで必ず固定して下さい。

落下防止のため、テレビの上に置く際は、必ず添付のマジックテープでテレビに固定して下さい。

(別紙「取り付け例(ピンクの紙)」)

マジックテープの貼り付け面のホコリ、汚れ等を拭き取ってから貼り付けて下さい。

マジックテープのテレビに対する前後方向の貼り付け位置は、使用するテレビに合わせて決めて下さい。

輸出する際のご注意

本製品(ソフトウェアを含む)は日本国内仕様であり、外国の規制等には準拠しておりません。本製品は日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。また、当社は本製品に関し海外での保守サービスおよび技術サポート等は行っておりません。

情報処理装置等電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としています。この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

セットアップ編

STEP-1

TelePort が手元に届いたら、まずはセットアップ（設置）をしましょう。



サービスご利用にあたり、まずはセットアップを行って頂く必要があります。なお、最初の設置・セットアップの場合は、別紙「クイックセットアップガイド(カラー折り込み)」をご覧ください。

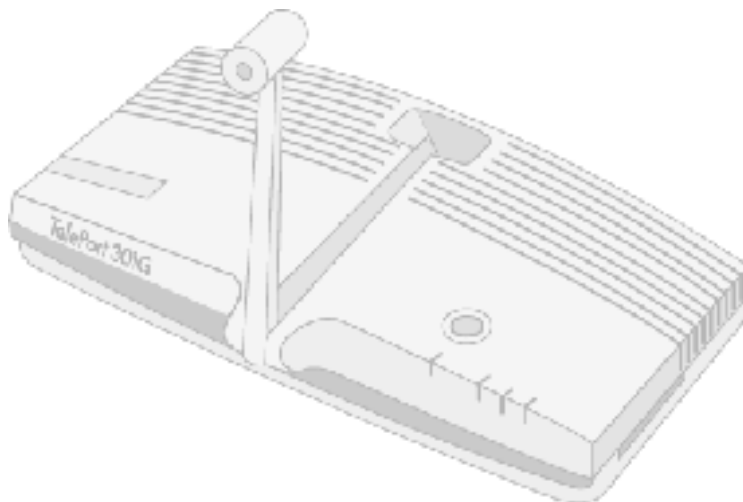
① **TelePort** を設置しましょう

- 箱の中身を確認しましょう 9
- 各部の名称と役割 10
- 設置しましょう 14

② 会員情報の登録をしましょう 19

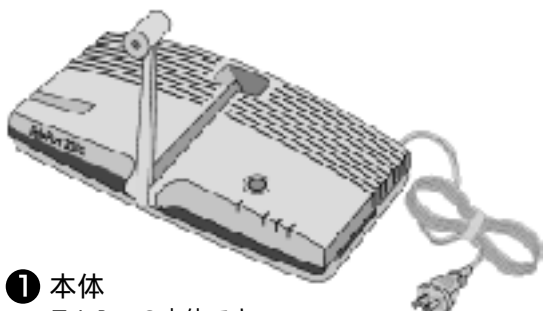
③ サービスご利用の準備をしましょう

- バージョンアップをしましょう 22
- チェックインテストをしましょう 24



① TelePort を設置しましょう

箱の中身を確認しましょう



① 本体
TelePortの本体です。



② リモコンと単3電池 (2本)
TelePortの操作を行うためのリモコンです。
(単3電池2本を含む)



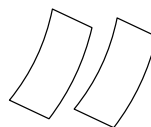
③ 回線ケーブル (白色)
TelePortを回線に接続するためのケーブル
です。(10m・ストレートタイプ・カテゴリ5 (8極8芯))



④ 映像用ケーブル (黄色)



⑤ 専用ヘッドセット
TelePort専用のヘッドセットです。
(ケーブル部: 3m)



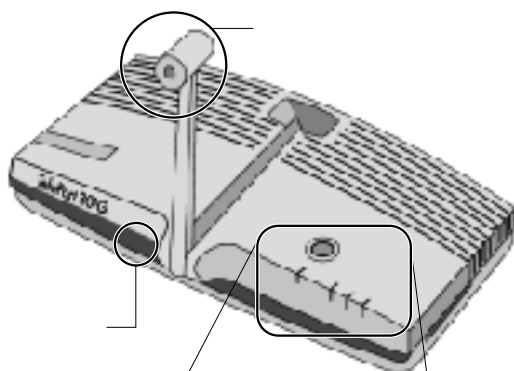
⑥ マジックテープ2枚

(別紙「取り付け例(ピンクの紙)」)



⑦ 取扱説明書
本書です。
クイックセットアップガイド(カラー折り込み)
マジックテープでの取り付け例(ピンクの紙)を含む。

上面図



カメラ

TelePort用のカメラです。本体の電源を入れたと同時に映ります。アーム部を起こして使います。

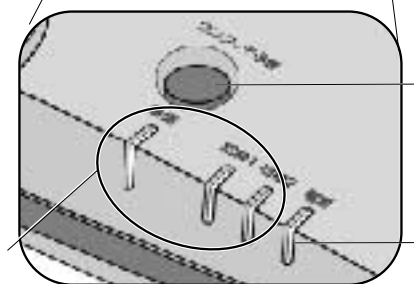


通信中は、テレビの電源がオフになってもカメラがセットされていると、ご自身の映像が相手側に映りますのでご注意ください。使い終わったら、必ず収納して下さい。

リモコン受光部

リモコンからの信号を受けるところです。リモコン操作は、テレビではなく、この部分に向けて行って下さい。

上面拡大図



ワンタッチ通信ボタン

リモコンなしで下記の操作ができます。
登録しておいたサービスまたは短縮ダイヤルにチェックイン(接続)する。
着信に応答する。
通信中の回線をブレイク(切断)する。

(P 39「ワンタッチ通信ボタンを活用しよう」)

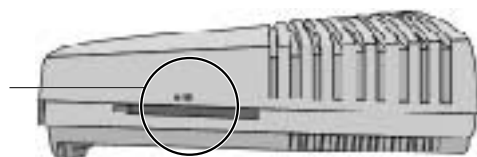
通信状態表示ランプ

通信状態をランプで表示します。
着信 着信時に赤色で点滅します。
回線1・2 通信中、緑色に点灯します。

電源ランプ

本体の電源のオン/オフを表示します。
オン 緑色 オフ オレンジ色

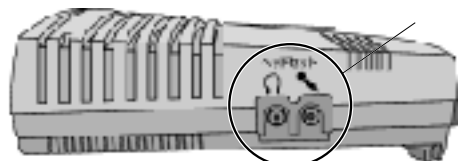
右側面図



拡張機能スロット

拡張機能カードを挿入します。
(P 50「拡張機能」)

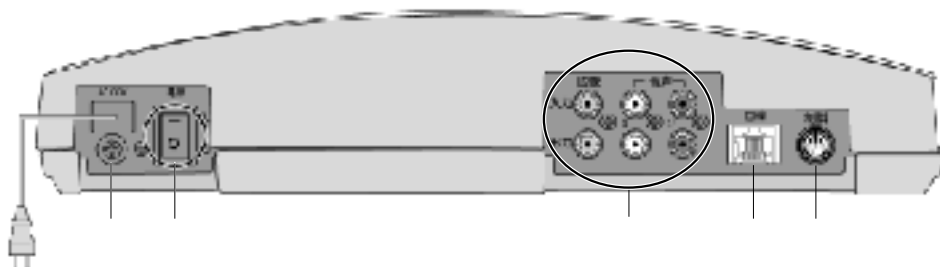
左側面図



ヘッドセット差込口

TelePort専用のヘッドセットを接続します。

背面図



アース用端子

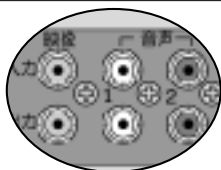
アースを接続する所です。

(66「用語集-アース」)

主電源

主電源の入/切を切り替えるスイッチです。通常は「入」にしておきます。

外部入出力端子



外部機器の映像・音声を入出力させる時に使用する端子です。オプションのスピーカーマイク(69「オプション一覧」)などの外部機器を接続します。

TelePortとテレビを接続する「映像用ケーブル(黄色)」は、「映像」の「出力」端子につなぎます。

回線端子

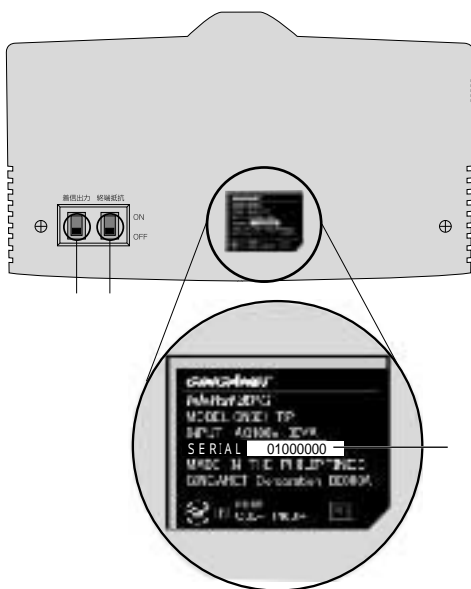


回線ケーブル(白色)で、TA(DSU)のS/T端子と接続します。

制御用端子

オプションの可動式カメラ(69「オプション一覧」)などをつなぎます。

底面図



着信出力スイッチ

の制御用端子にオプションのフラッシャーを接続している場合はオン、可動式カメラを接続している場合はオフに設定します。

終端抵抗スイッチ

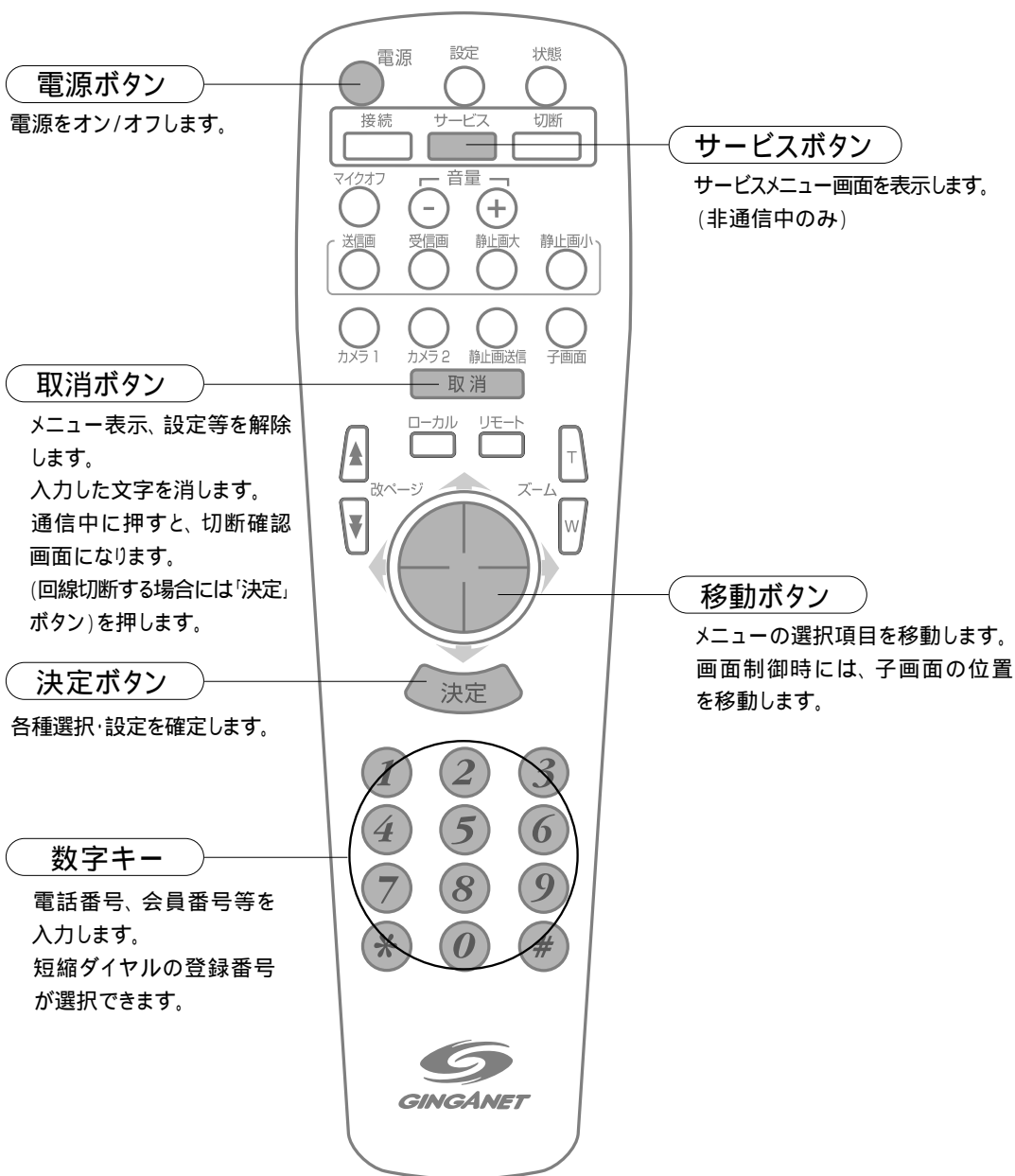
ISDN回線の終端抵抗オン/オフを切り替えるスイッチです。配線上の終端に接続する場合には、TA(DSU)側の終端抵抗をオフにしてこのスイッチをオンにしてください。(66「用語集-終端抵抗」)

SERIAL

シリアル番号(製造番号)です。

リモコン

よく使うリモコンボタン



注意 使用上の注意を守って下さい。

電池を入れてご使用下さい。電池交換の際は、必ず2本同時に行ってください。1本ずつ別々に行うと故障の原因となります。


リモコン操作は、テレビではなく、TelePort本体に向けて行って下さい。

リモコンボタン機能一覧表(ボタン名は50音順に並んでいます)

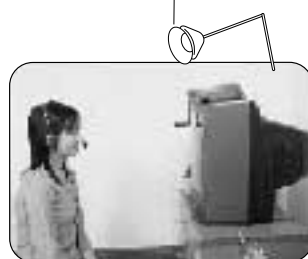
ボタン名	機 能	参照ページ
移動	選択項目や子画面の位置を移動します。可動式カメラ制御時には、相手側カメラの向きを制御します。(可動式カメラは別売りです)	
音量	ヘッドセット(または音声出力端子に接続した機器)から聞こえる音量を調節します。「-」を押すと小さくなり、「+」を押すと大きくなります。	30
改ページ	表示画面が複数ページに渡る場合、表示するページを切り替えます。	43
カメラ1	内蔵カメラの映像に切り替えます。	31
カメラ2	外付けカメラの映像に切り替えます。	43
決定	選択を確定します。	
子画面	子画面表示/非表示、子画面のサイズを切り替えます。	30
サービス	サービスメニュー画面を表示します。(非通信中のみ)	
受信画	相手から送られてくる映像を表示し、サイズを切り替えます。 非通信中に押すと、「セルフチェック(機能診断)」に切り替わります。	31
状態	現在の通信状態を表示します。2回押すと詳細を表示し、3回押すと表示を消します。	42
ズーム	自分のカメラ映像のズーム機能を調節します。「T」ボタンでズームイン、「W」ボタンでズームアウトします。通信中、相手が可動式カメラ(別売り)をつけている場合は、相手側のカメラのズーム機能を調節できません。	43
静止画小	静止画を子画面に、受信画をフルスクリーンで表示します。	42
静止画送信	送信画を静止画として相手側に送信します。	41
静止画大	静止画をフルスクリーンに、受信画を子画面に表示します。	42
接続	非通信中に押すと「02.ダイレクトネット」画面を表示します。 通信中に押すと、保留します。	
切断	通信中に押すと、切断確認画面になります。(回線切断する場合は「決定」ボタンを押します。) 非通信中に押すと着信拒否状態になります。	32
設定	「27.設定メニュー」画面を表示します。	
送信画	相手側に送っている自分の映像を表示します。	41
電源	電源のオン/オフを切り替えます。通信中は切断確認画面になります。 (回線を切断する場合は「決定」ボタンを押します。)	31
取消	メニュー表示を消します。文字入力をする画面では、入力した文字を消します。 通信中に押すと、切断確認画面になります。(回線切断する場合には「決定」ボタンを押します。)	
マイクオフ	自分の音声を、相手側に聞こえない状態にします。もう一度押すと解除します。	30
リモート	相手が可動式カメラ(別売り)を外付けしている場合、相手のカメラを調節するモードに切り替えます。	
ローカル	相手カメラを調節するモードから、自分の端末機のカメラを調節するモードに切り替えます。	

設置しましょう

1 きれいに映る場所を選びましょう

- (1) 背景をシンプルにします。
背景(ご自身の後ろ側)に、物の少ない場所を選び、明るめの単色で統一すると、人物がきれいに映ります。
(背後に人通りが多いと画像が乱れることがありますので、ご注意下さい。)
- (2) 部屋を明るくします。
逆光を避け、顔に光が当たるように配慮して下さい。
顔にライトを当てると、きれいに映ります。
( 52「カメラ調整」)で、さらに映りをきれいに調節することができます。

顔にライトを当てましょう

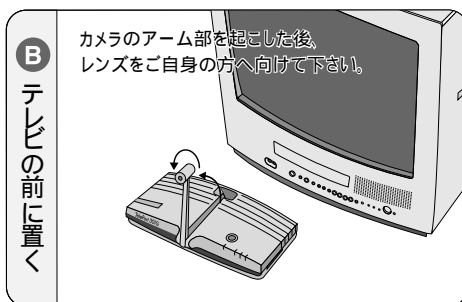
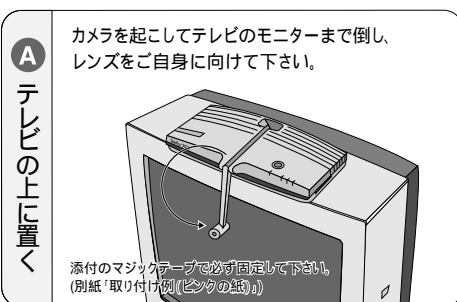


2 TelePortの設置に適した環境を選びましょう

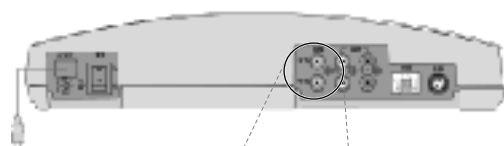
- (1) 室内に設置します。
設置環境は、寒すぎたり暑すぎたりしない場所をお選び下さい。
(温度5～35、湿度20～80%、ただし結露しないようご注意下さい)
- (2) スペースにゆとりを持たせます。
TelePortに熱がこもらないように、本体の両側に5cm以上のスペースを確保して下さい。

3 設置パターンを選びましょう

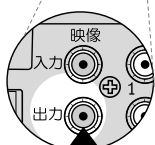
TelePortは、テレビに映っている通信相手とアイコンタクトが取れるよう、アイレベルカメラ(目線の位置にレンズがセットできるカメラ)を採用しています。お持ちのテレビや設置環境に合わせて、以下のパターンより選択して下さい。



4 映像用ケーブルをつなぎましょう

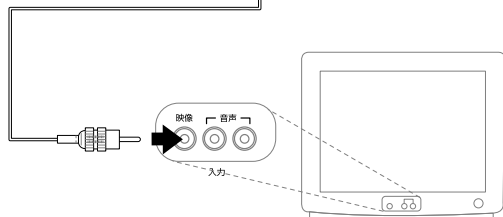


(1) 映像用ケーブル(黄色)の片側を本体背面の「映像 出力」に接続します。

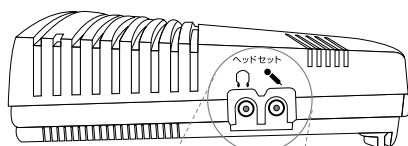


(2) 反対側を、テレビの外部入力の映像端子(黄色)に接続します。

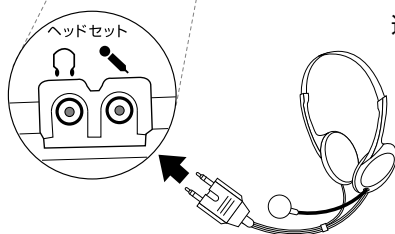
テレビの「外部入力」は、他にも「VIDEO IN」「ビデオ入力」「外部入力 - 映像」等の呼び名があります。詳しくはお持ちのテレビの取扱説明書をお読み下さい。



5 ヘッドセットをつなぎましょう



ヘッドセットのプラグをつなぎます。
溝のある方を上面に向けて、しっかりと差し込んで下さい。



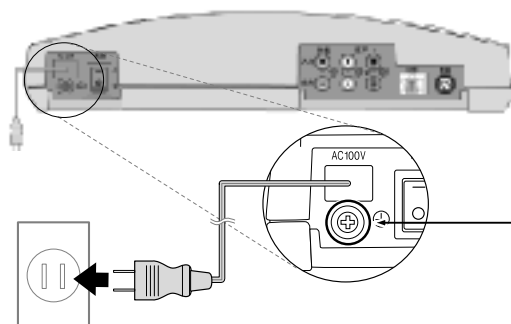
差し込み方が甘いと、相手の音声は聞えるのに、自分の音声が相手に届かないことがあります。その場合は、ヘッドセットのプラグを1回抜いて、奥までしっかりと差し込み直して下さい。



通信中に、ヘッドセットをテレビに近づけると、雑音の原因になります。相手側に迷惑がかかりますのでご注意下さい。

ヘッドセットを本体に接続しておく場合は、接続部分に上下方向からの圧力がかからないように注意して下さい。

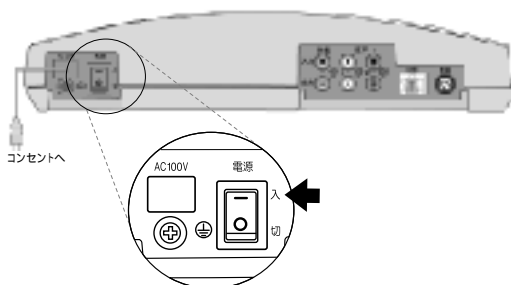
6 電源をコンセントにつなぎましょう



電源プラグをコンセントに差し込みます。

アースを装着して下さい。
(66「用語集-アース」)

7 本体の主電源を入れましょう



本体背面の「主電源スイッチ」を「入」にします。しばらくすると、本体正面の「電源」ランプが緑色に点灯します。



緑色に
点灯します。

8 テレビのチャンネルを合わせましょう



(1) テレビの電源を入れます。

(2) 使用するチャンネルに合わせます。

映像用ケーブルが接続されているテレビ側の端子名と同じチャンネルに合わせます。

例: 接続端子「ビデオ1」 チャンネル「ビデオ1」

接続端子「外部入力3」 チャンネル「外部3」等

チャンネルが合うと、画面上に「サービスメニュー」が映ります。

画面に何も映らない場合は・・・

～ の場合はテレビのチャンネルが違っている可能性があります。
以下のことを確認しましょう。



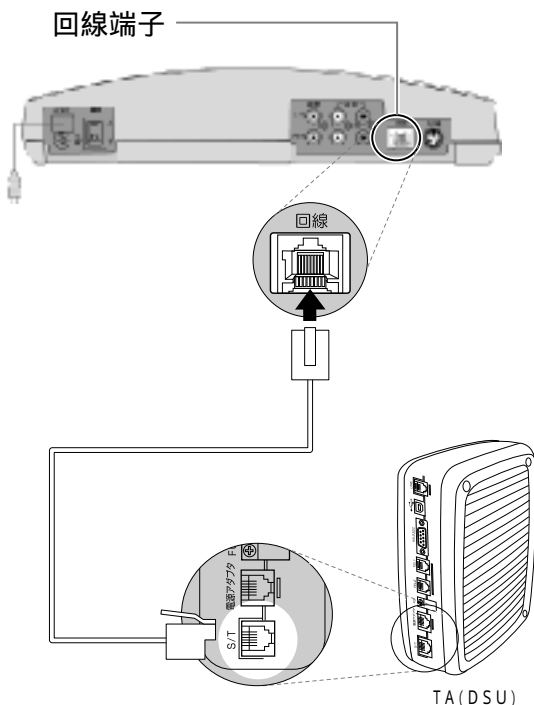
画面が真っ黒(真っ青)になっている
テレビ番組が放送されている
画面が砂嵐のようにになっている



テレビ、またはテレビのリモコンで「入力切替」「ビデオ1」「外部入力」等のボタンを押して正しいチャンネルに合わせましょう。
映像用ケーブルの接触がゆるくなっていないかを確認しましょう。

9

回線ケーブルをつなぎましょう



(1) 回線ケーブル(白色)の片側を本体背面の「回線」端子に「カチッ」と音がするまで差し込みます。

(2) 反対側を、TA (DSU) の S/T 端子に差し込みます。

「S/T 端子」には他にも「ISDN 接続ポート」「S/T ラインコネクタ」「ISDN S/T 点」等の呼び名があります。詳しくはお持ちの TA (DSU) の取扱説明書をお読み下さい。

この図は、NTT「INSメイトV30Slim」をモデルにしています。他機種をご利用になる場合は、お持ちの TA (DSU) の取扱説明書をお読み下さい。

NTT や電器店等で「INSメイトV30Slim」を購入された場合、「S/T 端子」はついておりません。NTT 製オプション製品の「S/T ユニット」を別途ご購入頂く必要があります。

S/T 端子のついていない TA (DSU) ではお使い頂けません。お持ちの TA (DSU) に S/T 端子がついているかどうかをご確認下さい。ご不明な方はお持ちの TA (DSU) のメーカー名と型番をギンガネットテクニカルサポート(06-7688-1717)までお知らせ頂ければ、お調べ致します。



TelePort 本体の底面に終端抵抗スイッチがついています。配線上の終端に接続する場合には、TA (DSU) の終端抵抗を「オフ」、TelePort の終端抵抗を「オン」にして下さい。
(11 「各部の名称-終端抵抗」)

TA (DSU) と 10 メートル以上離れた場所に TelePort を設置するには、別途 LAN ケーブル (ストレートタイプ・カテゴリ 5・8 極 8 芯) をご購入下さい。

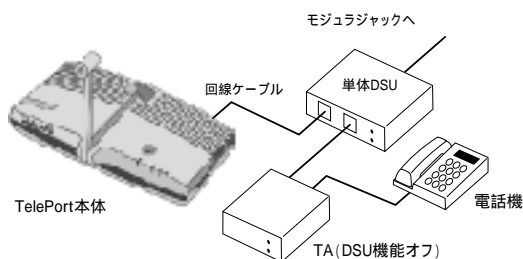
「会員情報の登録をしましょう」のページへ進み、会員情報の登録を行って下さい。



19 「会員情報の登録をしましょう」へ

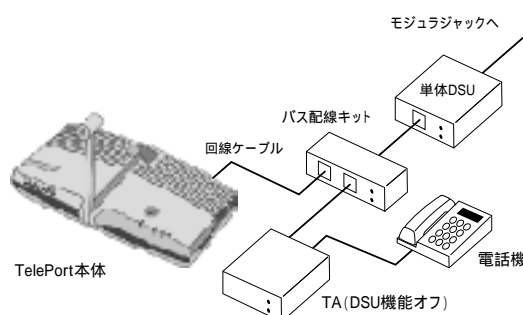
TA機能を持たない単体DSUの場合

● 単体DSUにS/T端子が2つある場合



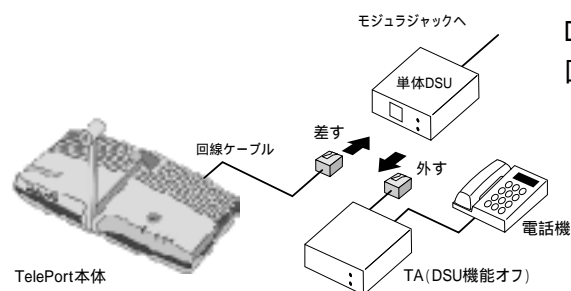
DSUのS/T端子にTelePortの回線ケーブルを差し込んで下さい。

● バス配線キットを使用する場合



単体DSUの後にバス配線キット (S/T端子を複数口に変換する装置) を取りつけてバス配線キットのS/T端子にTelePortの回線ケーブルを差し込んで下さい。

● 単体DSUにS/T端子が1つある場合



DSUのS/T端子にTelePortの回線ケーブルを差し込んで下さい。

TelePortの差し直しをして頂く前にTAに接続されたその他の通信機器等は全て回線切断して下さい。さもないと、数分間TelePortで通信を行うことができなくなる場合もございますのでご注意ください。

⚠ S/T端子のついていないTA (DSU) ではお使い頂けません。お持ちのTA (DSU) にS/T端子がついているかどうかをご確認下さい。ご不明な方はお持ちのTA (DSU) のメーカー名と型番をギンガネットテクニカルサポート (06-7688-1717) までお知らせ頂ければ、お調べ致します。

TelePort本体の底面に終端抵抗スイッチがついています。TA (DSU) の終端抵抗を「オフ」、TelePortの終端抵抗を「オン」にして下さい。(11「各部の名称-終端抵抗」)

TA (DSU) と10メートル以上離れた場所にTelePortを設置するには、別途LANケーブル (ストレートタイプ・カテゴリ5・8極8芯) をご購入下さい。

2 会員情報の登録をしましょう

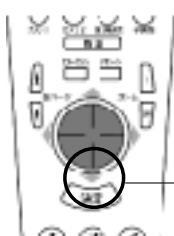


別送の「登録内容確認票」(黄色の紙)をお手元にご用意下さい。

1 「27.設定」アイコンを選択しましょう



サービスメニュー 1 ページ目 (1/3)



(1) リモコンの「移動」ボタンの下部を押し、黄色の選択枠を下へ移動させます。

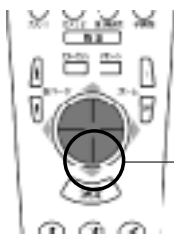
黄色の選択枠は、「移動」ボタンを押した方向に動きます。枠で囲まれたアイコンが、その時選択されているサービスになります。

選択されたサービス名は画面下に表示されます。

リモコンはテレビではなくTelePort本体に向けて操作して下さい。



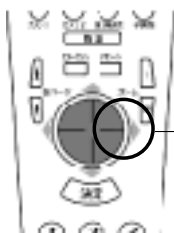
サービスメニュー 2 ページ目 (2/3)



選択枠が画面の1番下にある状態でもう1度下に押すと、次のページに移ります。



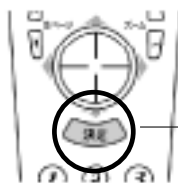
サービスメニュー 3 ページ目 (3/3)



(2) サービスメニューの3ページ目
(「サービスメニュー (3/3)」と表示されます)にある「27. 設定」アイコンを選択し、「決定」ボタンを押します。

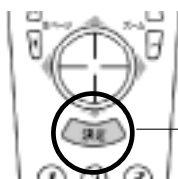
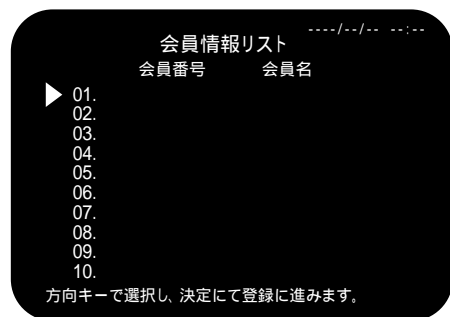


2 「会員情報設定」アイコンを選択しましょう



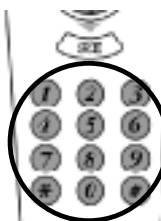
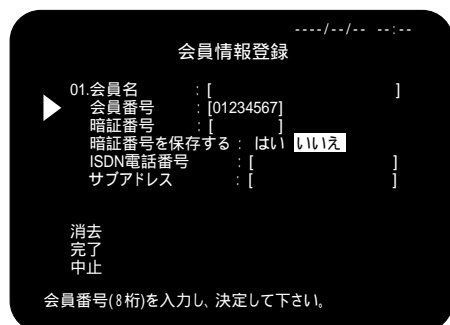
黄色の選択枠が「会員情報設定」アイコンを選択していることを確認し、「決定」ボタンを押します。

3 会員情報リストより番号を選択しましょう



「移動」ボタンで、登録したい任意の番号に三角のマーク(▶)を合わせ、「決定」ボタンを押します。

4 会員番号と暗証番号を登録しましょう



三角のマーク(▶)を会員番号に合わせ、「数字キー」で登録内容確認票に記載の8桁の会員番号を入力します。

(左図の例では、会員情報リストの「01」に登録しています。)

暗証番号を
保存する場合は

三角のマーク(▶)を「暗証番号」に合わせ、「数字キー」で4桁の暗証番号を入力します。どの数字を入力しても画面には「XXXX」と表示されます。入力間違いにご注意下さい。ご自身で決めた暗証番号を入力しても無効です。

三角のマーク(▶)を「暗証番号を保存する」に合わせ、「移動」ボタンの左右で「はい」を選択して下さい。



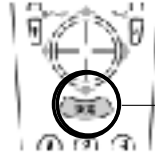
暗証番号を保存しておくと、チェックインの度に暗証番号を入力する手間が省けるので便利です。ただし、本人以外でもチェックインできてしまいますので、その点をご了承の上、登録して下さい。

5 登録を完了しましょう

会員情報登録

01. 会員名 : []
 会員番号 : [01234567]
 暗証番号 : [XXXX]
 暗証番号を保存する : はい いいえ
 ISDN電話番号 : []
 サブアドレス : []

▶ 消去
完了
中止



三角マーク(▶)を「完了」の項目に合わせ、「決定」ボタンを押します。

入力した設定を破棄して設定メニューに戻る場合は「中止」を選択し「決定」ボタンを押します。

さらに会員名等詳細まで登録する場合は(51「会員情報設定」)を参照して下さい。

6 リストに会員番号が登録されます

会員情報リスト

01. 会員番号 会員名
 02. 01234567
 03.
 04.
 05.
 06.
 07.
 08.
 09.
 10.

方向キーで選択し、決定にて登録に進みます。

リストにご自分の会員番号が表示されているかを確認します。登録が終了したら、「サービス」ボタンを押して、サービスメニューに戻ります。

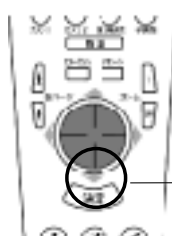
③ サービスご利用の準備をしましょう

バージョンアップをしましょう

1 「24.端末機バージョンアップ」アイコンを選択しましょう



サービスメニュー1ページ目 (1/3)

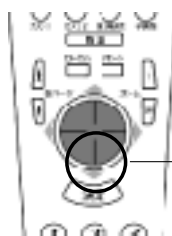


(1) リモコンの「移動」ボタンの下部を押し、黄色の選択棒を下へ移動させます。

黄色の選択棒は、「移動」ボタンを押した方向に動きます。棒で囲まれたアイコンが、その時選択されているサービスになります。



サービスメニュー2ページ目 (2/3)



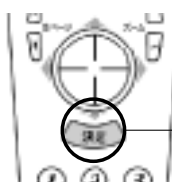
選択棒が画面の1番下にある状態でもう1度下に押すと、次のページに移ります。



サービスメニュー3ページ目 (3/3)



(2) サービスメニューの3ページ目（「サービスメニュー (3/3)」と表示されます)にある「24. 端末機バージョンアップ」アイコンを選択します。

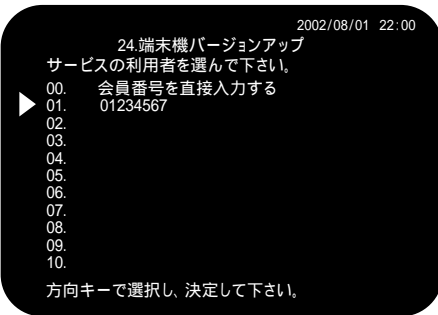


(3) リモコンの「決定」ボタンを押します。

2 サービスの利用者を選択しましょう



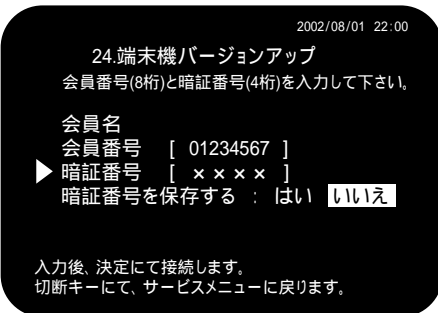
別送の「登録内容確認票」(黄色の紙)をお手元にご用意下さい。



(1) サービスの利用者を選択します。

「移動」ボタンの上、または下を押して三角のマーク(▶)をご自身の番号に合わせ、「決定」ボタンを押します。

暗証番号を保存している方はそのままバージョンアップが始まります。

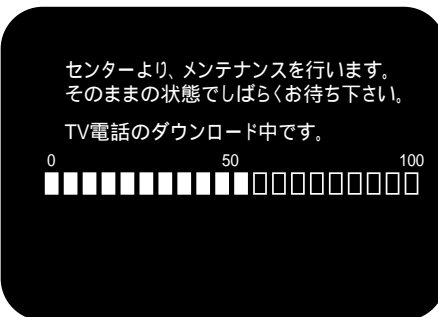


(2) 「会員情報設定」で、暗証番号の保存を行っていない場合は、登録内容確認票に記載の暗証番号を入力し「決定」ボタンを押します。

ご自身で決めた暗証番号を入力しても無効です。

暗証番号は、どの数字(エラーコード)を入力しても「XXXX」と表示されますので、入力間違いにご注意下さい。画面の左下に4桁の数字が出て接続できない場合は、(P.64「エラーコードを確認しましょう」)を参照して下さい。「3017 相手側が話し中(通信中)です」というメッセージが表示されて切断された場合は、回線が込み合っている状態ですので、しばらく待ってから再度おかけ直し下さい。

3 バージョンアップが始まります



自動的にバージョンアップが始まります。再びサービスメニュー画面に戻るまで、電源を切ったり、回線ケーブルを引き抜いたりせず、そのままでお待ち下さい。

バージョンアップには数分～十数分かかります。
(P.67「用語集-ブレイク」)

ダウンロードが不要な場合があります。

お持ちの端末が既に最新のバージョンの場合は、画面上に「この端末は最新のバージョンです」というメッセージが表示されます。最新のバージョンの場合はダウンロードの必要がありませんので、「サービス」ボタンを押して、サービスメニュー画面に戻って下さい。

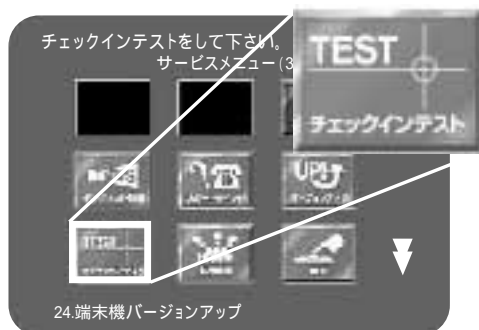


バージョンアップが始まらない場合は・・・

「センターよりメンテナンスを行います」の画面から上図の画面になかなか切り替わらない場合(30秒以上そのままの場合)は、一旦回線を切断し、ギンガネットテクニカルサポート(06-7688-1717)までご連絡下さい。

チェックインテストをしましょう

1 「25.チェックインテスト」アイコンを選択しましょう



(1) サービスメニューを表示させます。

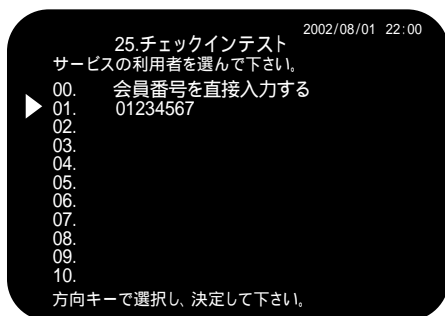
表示されていない場合は、「サービス」ボタンを押して、サービスメニュー画面を表示させます。

(2) アイコンを選択します。

前項の「バージョンアップをしましょう - 」の要領で、今度は「チェックインテスト」アイコンを選択します。

サービスメニューの3ページ目にある「25.チェックインテスト」を選択し、「決定」ボタンを押します。

2 サービスの利用者を選択しましょう

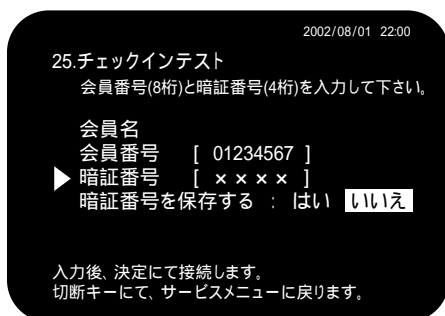


(1) サービスの利用者を選択します。

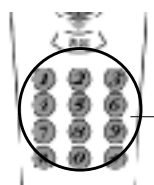


「移動」ボタンの上、または下を押して三角のマーク(▶)をご自身の番号に合わせ、「決定ボタン」を押します。

暗証番号を保存している方はそのままチェックインテストが始まります。



(2) 「会員情報設定」で、登録内容確認票に記載の暗証番号の保存を行っていない場合は、暗証番号を入力し「決定」ボタンを押します。



ご自身で決めた暗証番号を入力されても無効です。
暗証番号は、どの数字を入力しても「XXXX」と表示されますので、入力間違いにご注意下さい。

3 テストビデオが始まります

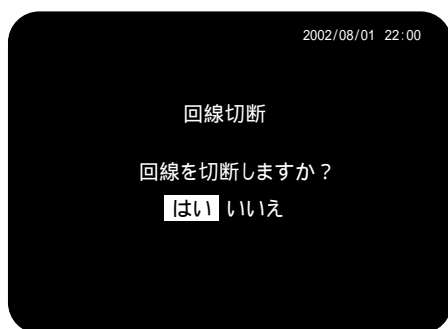


テストビデオの種類を選択して下さい。

機種を選択する画面につながります。

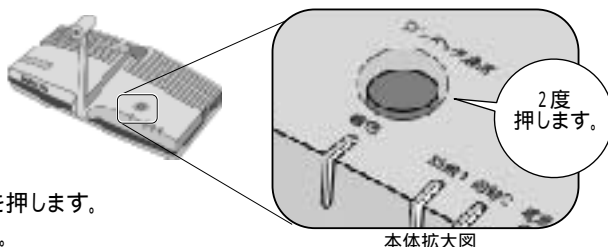
「数字」ボタンの「2」を押して、**TelePort 301** を選択します。

4 ブ레이크(切断)しましょう



すべての項目をご覧になりますと、画面上に「切断して下さい」というメッセージが表示されます。

「ワンタッチ通信ボタン」を続けて2度押して切断します。



リモコンで
切断する場合は

リモコンの「切断」ボタンを押します。

切断確認画面になります。

リモコンの「決定」ボタンを押して切断します。

切断したくなければ、「移動」ボタンで「いいえ」を選んで「決定」ボタンを押すか、「取消」ボタンを押します。(67「用語集-ブレイク」)

チェックインテストが始まらない場合は以下のポイントを確認して下さい。



A 音が聞こえない

ヘッドセットを着けていますか？

音量は「7」に設定されていますか？

ヘッドセットは本体にしっかりとつながっていますか？

ヘッドセットのプラグの向きは正しいですか？

B 画像が見えない

テレビのチャンネルを合わせていますか？

映像用ケーブル(本体)はしっかりとつながっていますか？

C 接続できない

正しい会員番号と暗証番号が入力されていますか？

リモコンの向きは正しいですか？

(A)～(C)を確認しても改善されない場合は、ギンガネットテクニカルサポート(06-7688-1717)までお問い合わせ下さい。

基本操作編

STEP-2

セットアップが済み、使用できる状態になったら、実際にTelePortを使ってみましょう。
ここでは、ギンガネットのサービス体系と、基本的な操作方法を説明します。

① ギンガネットのサービスについて

- ギンガネットには3つのサービスがあります ————— 27
- サービスの利用方法を練習しましょう ————— 28
- リモコンの基本操作をマスターしましょう ————— 30

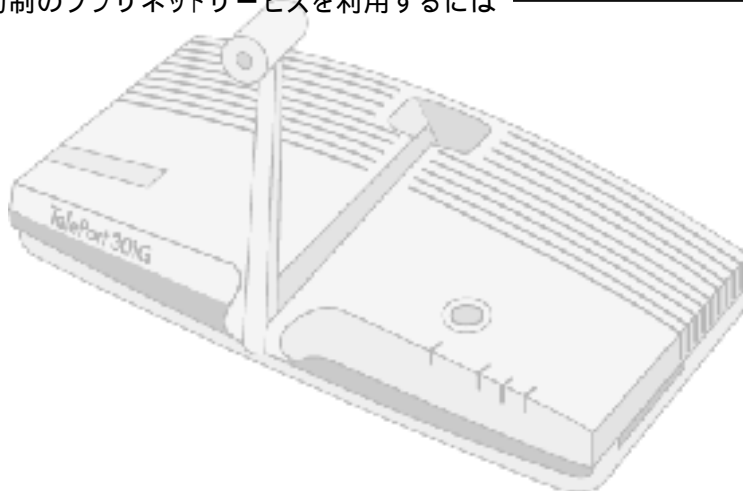
② ダイレクトネットサービスを利用してみましょう

- TelePortでかけるには ————— 33
- TelePortで着信を受けるには ————— 35

③ ミーティングネットサービスを利用してみましょう — 36

④ プラザネットサービスを利用してみましょう

- 予約制のプラザネットサービスを利用するには ————— 37



① ギンガネットのサービスについて

ギンガネットには3つのサービスがあります

サービスご利用の前に

ギンガネットクラブの会員には、必ず会員番号(IDナンバー)と暗証番号(パスワード)が発行されます。これらの記載された「登録内容確認票」(黄色の用紙)がTelePort本体とは別に送付されます。この用紙がお手元に届き次第、サービスをご利用頂けます。



注意

暗証番号は、この「登録内容確認票」にのみ記載されております。紛失等にお気を付け下さい。

ギンガネット3つのサービス

ギンガネットのサービスは、「ダイレクトネット」「ミーティングネット」「プラザネット」の3つから成り立っています。すべてのサービスには、サービスメニュー画面のアイコンを選択してチェックイン(接続)することができます。

ダイレクトネット

ギンガネット電話同士をつなぎ、1対1の会話を楽しむことのできるサービスです。

ISDN回線に接続したギンガネット電話同士で会話を楽しむことができます。一般電話・携帯電話・PHSともつなげられます。

(52「詳細設定してかけるには」)

IP通信回線に接続したギンガネット電話やIP電話と通話することはできません。

(2003年3月現在)

ミーティングネット

複数地点をつなぎ、多人数で会話を楽しむことのできるサービスです。

ISDN回線に接続したギンガネット電話だけでなく、IP接続回線に接続したギンガネット電話ともつなげられます。

(44「ミーティングネットサービスを利用してみましょう」)

プラザネット

各種コンテンツサービスをご利用頂けます。

詳しいサービス内容は、別送の「プラザネットサービスのご案内」をご覧ください。

会員の皆様へ

(1) バージョンアップの際にはお知らせいたします。

ギンガネットでは、TelePortのバージョンアップを随時行っております。最新プログラムを配信する際は画面上に「バージョンアップが必要です」と黄色い文字で表示してお知らせいたしますので、お手すきの時にバージョンアップして下さい。バージョンアップには数分～数十分かかります。

(56「バージョンアップ」)

(2) チェックインテストを行って下さい。

以下の場合には、必ず「25.チェックインテスト」を行って下さい。

「チェックインテストをして下さい」というメッセージが画面上に表示された時

画面右上に表示される時計が合わなくなった時

TA(DSU)を買い替えた・掃除や部屋の模様替えで設置場所を移動した等、ご使用上の環境が変わった時

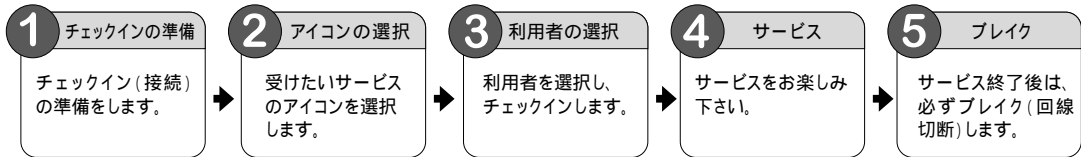
バージョンアップの直後 (49「チェックインテストが必要な時」)



「チェックインテストをして下さい」というメッセージが表示されているにもかかわらずチェックインテストを行わなかった場合、通信中に切断されてしまうことがあります。

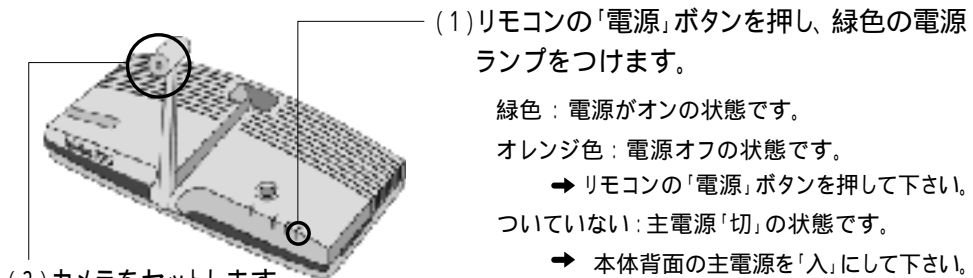
サービスの利用方法を練習しましょう

いずれのサービスをご利用頂く場合にも、以下の手順でチェックイン(接続) / ブレイク(切断)を行って下さい。



「25 チェックインテスト」のアイコンを使って、チェックインの練習をしてみましょう

1 チェックインの準備をします



カメラが収納されている状態であれば、カメラアーム部を起こし、レンズをご自身に向けて下さい。



通信中は、カメラを起こした時から相手側に映像が送られていますのでご注意ください。
TelePort使用後は、必ずカメラを元通りに収納するようにして下さい。(起こしたままにすると、落としたりぶつかったりした際に、破損する恐れがあります。)



サービスメニュー

(3) テレビの電源を入れ、チャンネルを合わせます。

テレビの電源を入れ、使用するチャンネルに合わせて下さい。「入力切替」「ビデオ」「外部入力」等のボタンでチャンネルを切り替えます。チャンネルが合っていれば、画面に「サービスメニュー」(左図)が映ります。

真っ青や真っ黒の画面、または、テレビ番組や砂嵐等が映る場合はチャンネルを間違えている可能性があります。

(4) セルフチェック(機能診断)をします。



サービスメニューが映っている状態で「受信画」ボタンを押すと、簡単な機能診断ができます。あらかじめ、ご自身の映像と音声をチェックするようにしましょう。

画面にご自身のカメラ映像が映っているか、左下に表示される音声レベルメータで音声の音量が適正であるかのチェックをして下さい。メータの緑色の部分が適正値です。ご自身の声が大き過ぎたり小さ過ぎたりする場合は、マイクの向きと口元からの距離を調節して下さい。「取消」ボタンを押して終了すると、サービスメニューに戻ります。

カメラ映りを調整する場合は(52「カメラ調整」)をご覧ください。

ヘッドホンからの音量の調整を行うには、リモコンの「音量」ボタンで調節して下さい。(30)

ここまでが「チェックインの準備」です。チェックイン前には必ず、上記の(1)～(4)の手順でご自身のカメラ映像が映り、声が聞こえることを確認してから、チェックインして下さい。映らない場合は、(62「症状を確認しましょう」)をご覧ください。

2 アイコンを選択・決定しましょう



サービスメニュー3ページ目(3/3)

「移動」ボタンで「25.チェックインテスト」のアイコンを選択し、「決定」ボタンを押します。

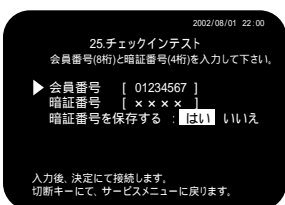
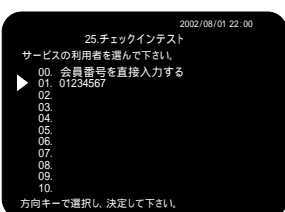
選択中のアイコンは、黄色の選択枠で囲まれています。

選択されたサービス名は、画面下に表示されます。(左図参照)

「移動」ボタンの下部を押して、選択枠を「25.チェックインテスト」に移動させて下さい。

何も操作をしないと「01.予約済サービスへワンタッチでチェックイン」が選択された状態になっています。

3 チェックイン(接続)しましょう



入力画面

(1) サービスの利用者を選択します。

「移動」ボタンの上下を押して、三角のマーク(▶)をご自分の会員番号に合わせ「決定」ボタンを押します。

(2) 「会員情報設定」で、暗証番号の保存を行っていない場合は、暗証番号を入力し「決定」ボタンを押します。ご自身で決めた暗証番号を入力されても無効です。画面左下に4桁の数字(エラーコード)が出てチェックインできない場合は、(64「エラーコードを確認しましょう」)を参照して下さい。



暗証番号を保存したい場合は・・・

三角のマーク(▶)を「暗証番号を保存する」の項目に合わせた状態で、「移動」ボタンを左右に押すと<はい/いいえ>が切り替わります。保存する場合は<はい>を選択して下さい。

① <はい>を選択した場合、次回からのチェックイン時には、その都度暗証番号を入力する必要がないので便利です。ただし、保存すると会員以外の方でもサービスを利用することができてしまいますので注意して下さい。

4 サービスをお楽しみ下さい

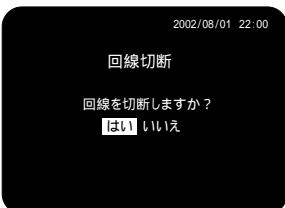
「チェックインテスト」につながります。

画面上の指示に従って、ご自分でご覧になりたい項目の番号を「数字キー」を押して選択して下さい。チェックインできなかった場合には、(64「エラーコードを確認しましょう」)を参照して下さい。

5 ブ레이크(切断)しましょう

通信を終えるときは、必ずブ레이크(切断)します。

「ワンタッチ通信ボタン」を2度続けて押します。



切断確認画面

リモコンで切断する場合は...

リモコンの「切断」または「取消」ボタンを押します。切断確認画面になります。

リモコンの「決定」ボタンを押して切断します。

切断したくなければ、「移動」ボタンで「いいえ」を選んで「決定」ボタンを押すか、「取消」ボタンを押します。

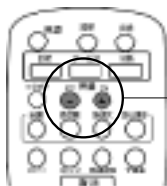
(67「用語集-ブ레이크」)



予約制のサービスをご利用になった後は、必ず速やかにブ레이크して下さい。ブ레이크を忘れると、次の時間に予約をしている別の会員の方がチェックインできないことがあります。

リモコンの基本操作をマスターしましょう

1 音量



音量を調節します。

聞こえる音量をコントロールします。

「+」ボタンを押すと、音量が大きくなります。

「-」ボタンを押すと、音量が小さくなります。(標準的な音量は「7」です。)

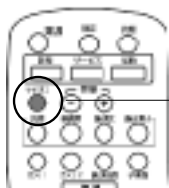
この「音量」ボタンは、聞こえる音量を調節するためのボタンです。ご自分側のマイクの音量は固定されていますので、このボタンで調節することはできません。

音量が大きすぎると、エコーの原因となり、相手の方に迷惑がかかるおそれがあります。標準的な音量は「7」です。

2 マイクオフ



画面左下に、「マイクオフ」と表示されます。



自分側のマイクをオフにします。

このボタンを押すと、自分側の音声相手が聞こえなくなります。(再度「マイクオフ」ボタンを押すと解除されます)

3 子画面

子画面の表示・サイズを変更します。

「子画面」ボタンを1回押すごとに、「大サイズ 小サイズ 子画面なし」が切り替わります。



子画面を大サイズで表示します。

ボタンを1回押すと、自分側の映像(送信画)が、子画面に大きく表示されます。



子画面を小サイズで表示します。

ボタンを2回押すと、子画面が小さくなります。



子画面を消します。

ボタンを3回押すと、表示されていた子画面が消えます。



子画面の表示位置を移動させます。

表示させた子画面を「移動」ボタンで上下左右に動かすことができます。



4 受信画

受信画(相手)



送信画(自分)



- (1) 相手から送られて来る映像を表示させます。
このボタンを押すと、相手側の映像(受信画)が表示されます。「子画面」ボタンを押すと、ご自分の映像(送信画)が、子画面に表示されます。

相手が誤って「静止画送信」ボタンを押してしまった等の理由で表示画面の様子が通常と異なってしまった場合は、このボタンを押すと、正常な画面に戻ります。

- (2) 受信画のサイズを変更します。



ボタンを1回押すと受信画が中サイズで表示されます。



ボタンを2回押すと受信画が小サイズで表示されます。



ボタンを3回押すと元のサイズに戻ります。

5 カメラ1



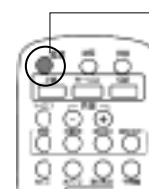
内蔵カメラからの映像を表示します。

送信画像に、ご自分の映像が表示されず、真っ暗な画面が映っている場合は、このボタンを押すと内蔵カメラの映像を表示することができます。

6 電源



切断確認画面



- (1) 非通信中に押すと、電源のオフとオンを切り替えることができます。
本体の電源ランプの色で、状態が確認できます。

緑色：電源がオンの状態です。

オレンジ色：電源オフの状態です。

ついていない：主電源「切」の状態です。

- (2) 通信中に押すと切断確認画面が表示されます。

通信中に「電源」ボタンを押しても、すぐには電源オフになりません。切断する場合は「決定」ボタン、そうでなければ「移動」ボタンで「いいえ」を選択して「決定」ボタンを押します。

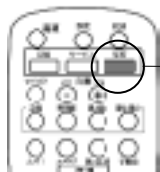
「はい」を選んだ場合は、回線が切断され、その後電源がオフになります。

7 切 断

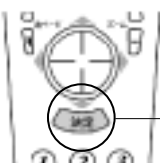
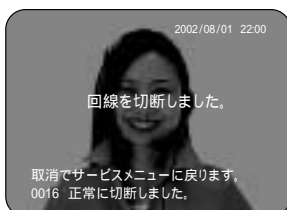
接続中のサービスからブレイク (切断) します。



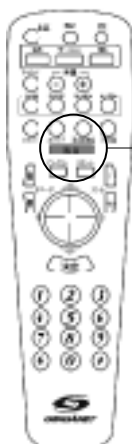
切断確認画面



接続中にこのボタンを押すと、切断確認画面になります。



切断する場合は、「決定」ボタンを押します。



「取消」ボタンを押しても、「切断」ボタンと同じく切断確認画面になります。切断する場合は、「決定」ボタンを押して下さい。

2

ダイレクトネットサービスを利用してみましょう

ダイレクトネットサービスとは・・・TelePort(ギンガネット電話)同士をつなぎ、1対1の会話を楽しむことのできるサービスです。IP接続回線に接続したギンガネット電話とはつながりません。(2003年3月現在)

● TelePort でかけるには

1 チェックインの準備をしましょう

- (1) リモコンの「電源」ボタンを押し、緑色の電源ランプをつけます。
- (2) カメラをセットします。
- (3) テレビの電源を入れ、チャンネルを合わせます。
- (4) セルフチェック(機能診断)をしましょう。

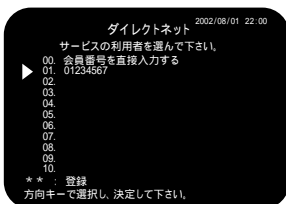
詳しい操作方法(28「チェックインの準備をします」)

2 「02 ダイレクトネット」アイコンを選択・決定しましょう



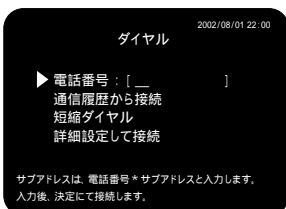
リモコンの「移動」ボタンを使って「02.ダイレクトネット」アイコンを選択し、「決定」ボタンを押します。

3 サービスの利用者を選択しましょう



リストから番号を選択・決定します。
三角のマーク(▶)をご自身の番号に合わせ、「決定」ボタンを押します。

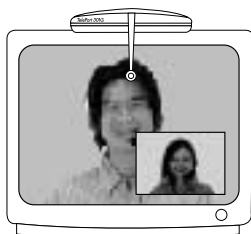
4 電話番号を入力しましょう



ダイヤルメニュー画面

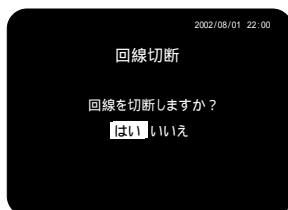
- (1) 「電話番号」を選択します。
三角のマーク(▶)を「電話番号」に合わせます。
- (2) 電話番号を入力します。
リモコンの「数字キー」で、相手先の電話番号を入力します。
サブアドレス(66「用語集 - サブアドレス」)がある場合は、電話番号の後に「*」を入力し、サブアドレスを入力して下さい。
- (3) 「決定」を押して接続します。
「決定」ボタンを押すとダイヤルします。相手の方が応答するのを待ち下さい。

5 相手の方との会話をお楽しみください



6 ブレイク(切断)しましょう

通信を終えるときは、必ずブレイク(切断)します。



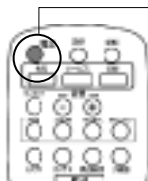
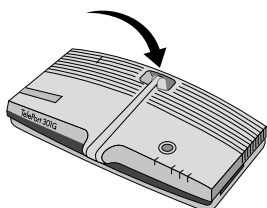
切断確認画面

「ワンタッチ通信ボタン」を続けて2度押します。

リモコンで
切断する
場合は...

リモコンの「切断」または「取消」ボタンを押します。
切断確認画面になります。
リモコンの「決定」ボタンを押して切断します。
切断したくなければ、「移動」ボタンで「いいえ」を選んで
「決定」ボタンを押すか、「取消」ボタンを押します。
(67「用語集-ブレイク」)

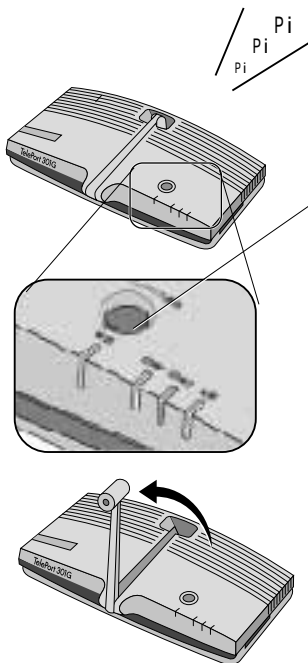
7 カメラを収納し、電源を切りましょう



「電源」ボタンを押して、電源を切ります。

本体の主電源を切った場合、通信できる環境が確認するために、再度チェックインテストが必要となります。
内蔵カメラは使用後に必ず元通りに収納するようにして下さい。起こしたままにすると、ぶついたり、落としたりした際に破損する恐れがあります。収納する際は、アームの「つまみ」を持って収納して下さい。

TelePortで着信を受けるには



TelePortに着信があると、着信音が鳴ります。

着信音の設定 → 51「会員情報設定」

着信音量の設定 → 54「着信設定」

(1)「ワンタッチ通信ボタン」を押します。

TelePort本体の「ワンタッチ通信ボタン」を押します。

(リモコンの「決定」ボタンを押しても、同じように応答できます)

着信を拒否する場合は、リモコンで「取消」を押して下さい。
この時、相手には「着信を拒否されました」というメッセージが表示されています。

(2)ヘッドセットを着け、相手を確認します。

ヘッドセットを着けて応答します。

A. 相手が電話の場合 → そのままお話し下さい。

B. 相手がTelePort (ギンガネット電話) の場合

→ テレビの電源を入れ、チャンネルを合わせると、
相手が映ります。

(3)カメラをセットします。

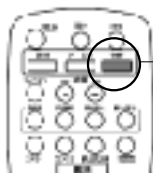
相手にご自分の映像を送ってもよい場合は、カメラを起
こし、レンズをご自分の方へ向けます。

TelePortで着信を受けなくするには

全ての一般電話やギンガネット電話からの着信を受けないようにすることができます。
「着信拒否」機能を設定している場合は、TelePortの着信音は鳴りません。



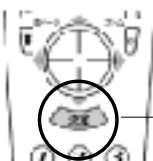
サービスメニュー



(1) サービスメニューが映っている状態で
リモコンの「切断」ボタンを押します。



着信拒否確認画面



(2) 着信拒否確認画面で「はい」を選択し、
リモコンの「決定」ボタンを押します。



(3) 画面の左上に「着信拒否」と表示されます。

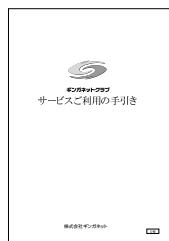
着信拒否を解除したい場合はサービスメニューが映っている状態で
リモコンの「切断」ボタンを押して、着信拒否設定を解除すれば、
着信可能な状態に戻ります。

3 ミーティングネットサービスを利用してみましょう

ミーティングネットサービスとは…複数地点をつなぎ、多人数で会話を楽しむことのできるサービスです。

1 予約を取りましょう

予約の取り方は、「ギンガネットクラブ サービスご利用の手引き」をご覧ください。



2 予約時間前に、チェックインの準備をしましょう

(28「チェックインの準備をします」) の手順で、ご自身の音声と映像を確認して下さい。

3 時間通りにチェックインしましょう

サービスメニューで「01.予約済サービスへワンタッチでチェックイン」を選択し、サービスの利用者を選択した後、「決定」ボタンを押してチェックインして下さい。予約時刻よりも早すぎると、前にご予約の方が使用中なのでつながりません。画面右上の時計を基準にして、必ず時間通りにチェックインしましょう。

(「03.ミーティングネットサービス」アイコンを選択しても同様につながります。)

画面左下に4桁の数字(エラーコード)が出てチェックインできない場合は、(64「エラーコードを確認しましょう」)を参照して下さい。それでも解決しない場合は、ギンガネットテクニカルサポート(06-7688-1717)までご連絡下さい。

チェックイン中のご注意

ミーティングネットでは、音声切替え機能を採用しております。この機能は、以下の場合適用されます。

フルスクリーンをご利用中に、3地点以上で接続する場合

4分割をご利用中に、5地点以上で接続する場合

12+1分割をご利用中に、14地点以上で接続する場合

16分割をご利用中に、17地点以上で接続する場合

上記の場合は、音声に反応して画面上に映る人が自動的に切り替わります。利用中、ご自分の姿を画面に表示させたい場合は、声を大きめかつ長めにお話し下さい。

4 時間通りにブレイク(切断)しましょう

ワンタッチ通信ボタンを2回押すか、リモコンの「切断」ボタンを押し、「決定」ボタンを押して下さい。接続しているすべての会員が切断しないと、次の時間の予約をお取りになった別の会員がご利用になれない恐れがあります。サービス終了後は、速やかにブレイクして下さい。

(34「ブレイクしましょう」)

ブレイク後は、カメラを収納し、リモコンで電源を切して下さい。

内蔵カメラは使用後に必ず元通りに収納するようにして下さい。起こしたままにすると、ぶついたり、落としたりした際に破損する恐れがあります。

4 プラザネットサービスを利用してみましょう

プラザネットサービスとは・・・TelePortを使用して楽しめる色々なコンテンツサービスです。

予約制のプラザネットサービスを利用するには

「01 予約済サービスへワンタッチでチェックイン」は予約制のサービスにチェックインする際に使用します。



(1) まずは、ご利用になるサービスの予約をお取り下さい。
予約の取り方は、各コンテンツプロバイダの案内に従って下さい。

(2) 予約した日時になったら、以下の手順でチェックインをして下さい。

チェックインの時間が早すぎたり、予約が入っていない場合には「2995 予約日時を確認して下さい。」というメッセージが表示され、チェックインできない場合があります。

(1) チェックインの準備をします。(67 「チェックインの準備をします」)

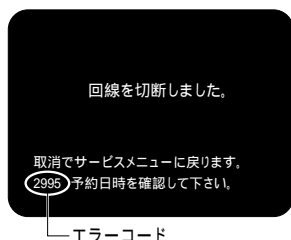
(2) アイコンを選択し、「決定」ボタンを押します。

「01.予約済サービスにワンタッチでチェックイン」のアイコンを選択し、「決定」ボタンを押します。

(3) サービスの利用者を選択し、「決定」ボタンを押します。

(4) 予約したサービスにチェックインします。

チェックインできなかった場合



何も予約をされていない場合は、左図のようなメッセージが表示され、切断されます。画面左下に表示される4桁の数字を「エラーコード」と呼びますが、切断した場合には必ず表示されます。

切断理由に心当たりがない場合は、このエラーコードをメモして、(67 「エラーコードを確認しましょう」) をご覧下さい。

4分割画面のサービスを利用中、他の方が映っているにも関わらず、ご自分の姿が画面に表示されない場合は、声を大きめかつ長めにお話し下さい。音声に反応して画面上に映る人が自動的に切り替わります。

(5) サービス終了後はブレイクします。

サービス終了後は、必ずブレイク(切断)して下さい。ブレイクを忘れると、その分通信料がかかるだけでなく、次の時間に予約をしている別の会員の方がチェックインできないことがあります。

サービスが終了した後は、速やかにブレイクして下さい。(67 「用語集 - ブレイク」)

(6) カメラを収納し電源を切ります。

リモコンの「電源」ボタンを押して、電源を切ります。通常、主電源は「入」にしておきます。

内蔵カメラは使用後に必ず元通りに収納するようにして下さい。起こしたままにすると、ぶついたり、落としたりした際に破損する恐れがあります。

非予約制のプラザネットサービスを利用するには

サービスメニューより、ご利用になりたいサービスのアイコンを選択し、チェックインします。

様々なサービスをお楽しみ下さい。

ここではTelePortの便利な使い方を説明致します。様々な設定や使用方法をマスターして、TelePortを活用して下さい！

① TelePort を使いこなしましょう

- ワンタッチ通信ボタンを活用しましょう _____ 39
- 色々なリモコン操作をマスターしましょう _____ 41

② 便利なかけ方

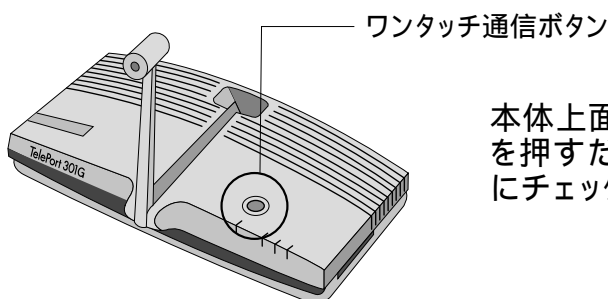
- 通信履歴からかけるには _____ 44
- 詳細設定してかけるには _____ 44
- 短縮ダイヤルからかけるには _____ 45
- 短縮ダイヤルの登録方法 _____ 45
- 文字入力をマスターしましょう _____ 46
- 保留機能を使うには _____ 47

③ アイコンを使いこなしましょう

- バージョンアップ _____ 48
- チェックインテスト _____ 49
- ギンガネットクラブ情報 _____ 49
- サポートダイヤル _____ 49
- 拡張機能 _____ 50
- 設定 _____ 50
 - ・会員情報設定 _____ 51
 - ・端末設定 _____ 52
 - ・映像音声設定 _____ 52
 - ・発信設定 _____ 53
 - ・着信設定 _____ 54
 - ・保守 _____ 54
- 議長機能サービス _____ 50

① TelePortを使いましょう

ワンタッチ通信ボタンを活用しましょう



本体上面右側の「ワンタッチ通信」ボタンを押すだけで、リモコンを使わず、手軽にチェックインやブレイクができます。

使用パターン



A 予約済のサービスへチェックインできます。

非通信中にこのボタンを押すと、「01.予約済サービスへワンタッチでチェックイン」(P.37「予約制のプラザネットサービスを利用するには」)につながります。(お買い上げ時の設定)

サービスを予約していない場合はつながりません。

設定によりボタンを押した時に、チェックインするサービス先を変更することができます。

(P.53「発信設定 ワンタッチ発信」)

B 特定の相手にワンタッチでつながります。

あらかじめ短縮ダイヤル番号を設定しておけば、ワンタッチ通信ボタンを押すことで、特定の相手につなげることができます。(P.45「短縮ダイヤルの登録方法」)

C 通信中に押すと、ブレイク(切断)します。

通信中に、2回続けてこのボタンを押すと、ブレイクできます。

D 着信時に押すと、応答します。

ダイレクトネットで、相手先から着信があった場合、このボタンを押すと応答できます。

(P.35「TelePortで着信を受けるには」)

応答の 順序

着信音が鳴ったら、このボタンを押します。

ヘッドセットを着けて応答します。

相手がTelePort(またはその他のギンガネット電話)の場合は、テレビの電源を入れ、チャンネルを合わせます。

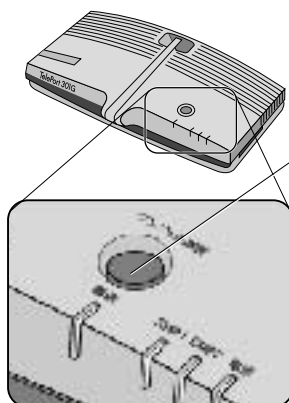
ご自分の映像を映したい場合は、カメラをセットします。

注意 ご自身の映像を見られたくない場合は、カメラを起こさないで下さい。

ボタンを押して応答すると、その時点からカメラの映像は相手に送られています。カメラがセットされている場合、テレビの電源を切っていて相手の画像が見えなくても、こちら側の映像は相手には見えていますのでご注意ください。応答しても相手にご自分の映像を見られたくない場合、カメラを収納して下さい。この場合、相手側には黒い画面で映ります。

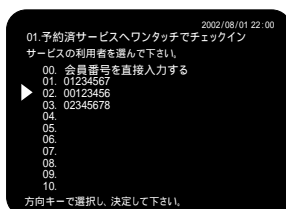
ワンタッチ通信ボタンでの接続方法

1 ワンタッチ通信ボタンを押しましょう



非通信中にワンタッチ通信ボタンを押します。

2 サービスの利用者を選択しましょう



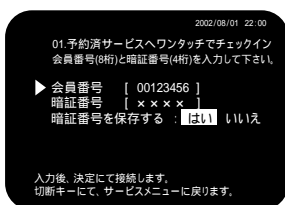
ワンタッチ通信ボタンを一回押すごとに「01」に登録されている会員 「02」に登録されている会員・・・

の順に三角のマーク(▶)が一つずつ下がっていきます。

ご自身の番号の横に三角のマーク(▶)がくるまでワンタッチ通信ボタンを複数回押して下さい。

ボタン操作の間隔が3秒以上空いてしまうと、その時点で選択されているサービス利用者と接続が行われますのでご注意ください。

3 接続をしましょう



選択したいサービス利用者の横に三角のマーク(▶)がある状態で3秒間待つと、選択しているサービス利用者と自動的に接続を行います。

サービスを予約していない場合はつながりません。

ボタンを押した時に、チェックインするサービス先は設定により変更することができます。

(53「発信設定 ワンタッチ発信」)

4 サービスをお楽しみ下さい

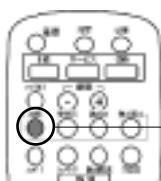
色々なリモコン操作をマスターしましょう

1 送信画

送信画(自分)



受信画(相手)



相手に送っている自分の映像を確認します。
通信中にこのボタンを押すと、相手側に送っている自画像(送信画)を、ご自身でチェックすることができます。「子画面」ボタンを押すと、子画面には相手側の映像(受信画)が表示されます。
(P.30「子画面」)

2 静止画送信

送信画を静止画として送ります。

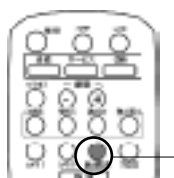
受信画(相手)



送信画(送りたい画像をカメラに映します。)

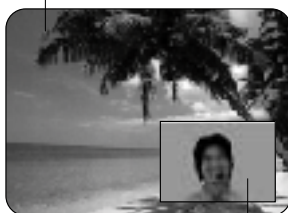
TelePortは、通常の画面より高精細な静止画を互いにやり取りすることができます。この静止画は通信中最新の1枚だけを保存することができます。ただし、ブレイク(回線切断)すると保存されている画像は消えます。

(1) 送信したい画像をカメラに映し「静止画送信」ボタンを押します。



相手側に数秒～十数秒で、その画像が静止画として届きます。

静止画



受信画(相手)

(2) 双方に静止画が表示されます。

子画面には、相手側の映像(受信画)が表示されます。

(3) 静止画表示を解除する場合は、「受信画」ボタンを押します。

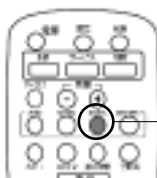
このボタンを押すと、同時に通信しているすべての方の画面上に子画面が表示されます。「子画面」ボタンを押すと、子画面表示は消えます。

誤って静止画を送信してしまった場合は、「受信画」ボタンを押して、静止画表示を解除して下さい。



他地点をつなぐサービスの利用中は、他の会員の方の迷惑になる事がありますので、「静止画送信」ボタンをむやみに押さないようご注意ください。

3 静止画大



保存されている静止画を、フルスクリーンで表示します。

静止画をフルスクリーン表示し、子画面に相手側の映像(受信画)を表示します。

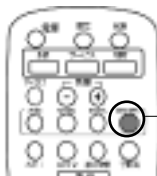
一旦静止画表示を解除しても、このボタンで再度表示することができます。(ただし、切断すると同じ静止画を表示することはできません。)

4 静止画小

受信画(自分)



静止画(相手)

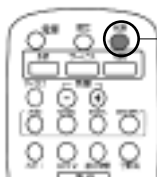


保存されている静止画を、子画面に表示します。

相手側の映像(受信画像)をフルスクリーン表示し、子画面に静止画を表示します。

一旦静止画表示を解除しても、このボタンで再度表示することができます。(ただし、切断すると同じ静止画を表示することはできません。)

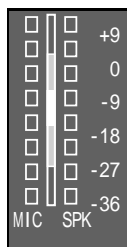
5 状態



通信状態の概要が表示されます。

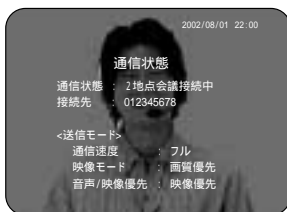
「状態」ボタンを1回押すと、左上に表示画面の種類、右上に時刻、左下に音声レベルメーターが表示されます。

音声レベルメーター



「MIC (マイク)」にヘッドセットのマイクや外部入力からのボリューム、「SPK (スピーカ)」にヘッドホンからのボリュームが表示されます。

メータの緑色の部分が適正值です。ご自身のマイク音量が大き過ぎたり小さ過ぎたりする場合は、マイクの向きと口元からの距離を調節して下さい。



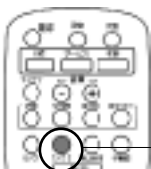
通信状態の詳細が表示されます。

「状態」ボタンを2回押すと、チェックイン先や通信

状態の詳細が表示されます。リモコンの「移動」ボタンを左右どちらかに押すと、

送信モード 受信モード 設定モード が切り替わります。もう1度「状態」ボタンを押すと、表示は消えます。

6 カメラ 2



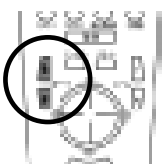
外部カメラからの映像を表示します。

外部カメラを取り付けた場合に、そのカメラの映像を表示させるためのボタンです。

何も取り付けなかった場合は、真っ黒な画面が表示されます。

お持ちのデジタルカメラ・ホームビデオ・その他映像機器を接続して、その画像を楽しむことができます。

7 改ページ



表示画面が複数ページにわたる場合に使います。

サービスメニュー画面のように、表示画面が複数ページに渡る場合は、このボタンでページごとの移動ができます。

8 ズーム



ズーム時の画像(16段階切替可能)



自分側のカメラのズーム機能を制御します。

「T」ボタンでズームインします。

(画像が拡大していきます。)

拡大した分、画質が粗くなります。拡大した状態で「移動」ボタンを上下左右に押すと、画面の表示位置を調節できます。

「W」ボタンでズームアウトします。



普通のサイズ

ズームの
調節方法

「ローカル」ボタンを押すと、自分のワーブゲイトのカメラを調節することができます。

「移動」ボタンでカメラの向きを、「ズーム」ボタンでズーム機能を調節します。

「子画面」ボタンを押すと、もとのモードに戻ります。

この時、相手が可動式カメラ(別売り)を接続している場合は、相手カメラも調節できます。「リモート」ボタンで相手側カメラの調節に切り替わり、「ローカル」ボタンで自分

(52「映像音声設定」)

● 自室送信

ミーティングネットサービス等、多地点で接続して通信を行う場合に

「T」ボタンで自分以外の参加端末にカメラ映像がフルスクリーンで表示させることができます。

「W」ボタンで、自室送信機能を解除します。

(60「自室送信」)

2 便利なかけ方

通信履歴からかけるには

「通信履歴」には、ご自身のTelePortが発信もしくは着信した通信相手の電話番号が残ります。履歴に残った番号にかけることや、履歴に残った番号を短縮ダイヤルに登録することができます。



通信履歴表示画面

(1) 「通信履歴から接続」を選択します。

三角のマーク(▶)で選択し、「決定」ボタンを押すと、通信履歴表示画面になります。

(2) 相手を選択します。

通信履歴表示画面から発信したい相手先の番号に、「移動」ボタンで三角のマーク(▶)を合わせます。または、各電話番号の先頭へ順に振られている2桁の番号を「数字キー」で入力しても、三角のマーク(▶)を合わせることができます。

(3) 「決定」で接続します。

「決定」ボタンを押すとダイヤルします。相手の方が応答するのを待ち下さい。

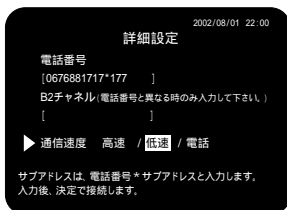
着信時に「取消」を押すと「拒否」の履歴が残ります。また、NTTの「通信中着信通知サービス」を契約されている方は、TelePort通信中に着信があった場合「話中」の履歴が残ります。通信履歴に残った番号を選択し、「*」を2回押すと、短縮ダイヤルに登録できます。

(P. 45「短縮ダイヤルの登録方法」)

詳細設定してかけるには

B2チャンネルが異なる相手にかける時、通信速度を変更してかけたい時(高速/中速/低速)、一般電話(携帯電話・PHSを含む)にかけたい時にこの設定をします。

⚠ IP通信回線から一般電話(加入電話)や携帯電話、PHSにはかけられません。



詳細設定画面

(1) 「詳細設定して接続」を選択します。

三角のマーク(▶)で「詳細設定して接続」を選択し、「決定」ボタンを押すと、詳細設定をする画面になります。

(2) 電話番号を入力します。

必要なら、B2チャンネルの番号と、通信速度を設定します。

(3) B2チャンネルの番号と通信速度を設定します。

通信速度の設定変更について

電話やFAXを使用したり、インターネットに接続しながら同時にTelePortで通信したい場合

通信速度を「低速」に設定します。
映像と音声の品質を半分に落とすことで、以下の通信を可能にします。

別の通信機器を使用しながら、TelePortで通信ができます。

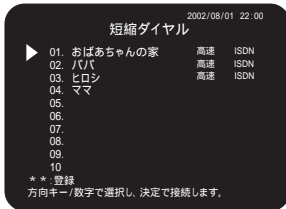
この設定はダイレクトネットサービスでのみ有効です。設定を何も変更しない場合は、「高速」で通信します。

(4) 「決定」ボタンを押して接続します。

「決定」ボタンを押すとダイヤルします。相手の方が応答するのを待ち下さい。

短縮ダイヤルからかけるには

短縮ダイヤルによくかける相手先を登録しておけば、簡単な操作でかけられます。



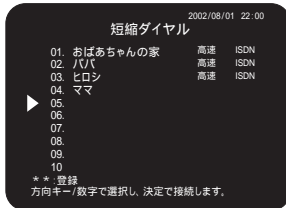
短縮ダイヤル画面

- (1) 「短縮ダイヤル」を選択します。
三角のマーク(▶)で選択し、「決定」ボタンを押すと、短縮ダイヤル画面になります。
- (2) 相手を選択します。
短縮ダイヤル表示画面から発信したい相手先の番号を「移動」ボタンまたは「数字キー」で選択し、三角のマーク(▶)を合わせます。

- (3) 「決定」ボタンで接続します。
「決定」ボタンを押すとダイヤルします。相手の方が応答するのをお待ち下さい。

短縮ダイヤルの登録方法

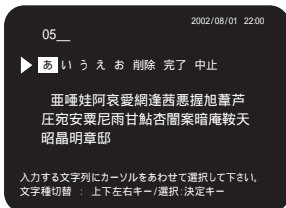
1 登録番号を選択しましょう



登録番号選択画面

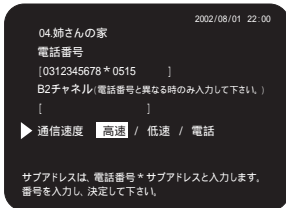
- (1) ダイレクトネット画面より「短縮ダイヤル」を選択して、「決定」ボタンを押します。
- (2) 「移動」ボタンで短縮登録したい番号を選んで、「*」ボタンを2回押します。

2 名前を入力しましょう



- (1) 文字種を「移動」ボタンで選択します。
(46「文字入力をマスターしましょう」)
- (2) 文字を「移動」ボタンで選択します。
- (3) 「完了」を選択し、「決定」ボタンを押します。
入力した設定を破棄して設定メニューに戻る場合は「中止」を選択し「決定」ボタンを押します。

3 電話番号を入力しましょう

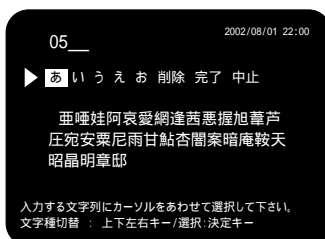


- (1) 電話番号を入力します。
「数字キー」で登録する相手の電話番号を入力します。
サブアドレスがある場合には「電話番号 * サブアドレス」と入力して下さい。
訂正したい場合は「取消」ボタンを押して下さい。右端から一文字ずつ消すことができますので正しい番号を入力し直して下さい。
- (2) その他の項目を選択します。
通信速度を変更したい場合や、相手が一般電話(携帯電話・PHSを含む)の場合は、「通信速度」の項目で選択して下さい。

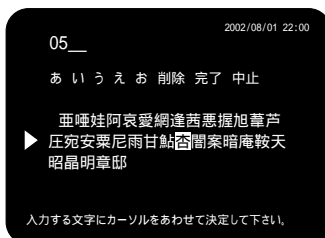
- (3) 「決定」ボタンを押して登録を完了します。

文字入力をマスターしましょう

文字を入力するには



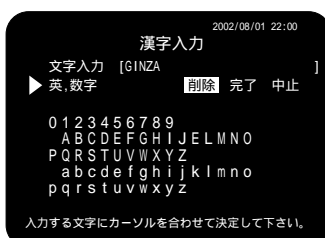
文字種選択画面



入力文字選択画面

- (1) 文字種を「移動」ボタンで選択します。
上下移動をさせると「記号」「英、数字」「ひらがな」「カタカナ」「ギリシャ文字」「ロシア文字」「(漢字入力の)あ行」「か行」...の順で切り替わります。
入力したい文字種を選択し、「決定」ボタンを押します。
- (2) 文字を「移動」ボタンで選択します。
カーソルを移動させて文字を選択し、「決定」ボタンを押すと、入力することができます。
- (3) 入力を完了します。
名前を入力し終えたら、「移動」ボタンで「完了」を選択し、「決定」ボタンを押します。
入力した設定を破棄して設定メニューに戻る場合は「中止」を選択し「決定」ボタンを押します。

入力した文字を訂正するには



- (1) 「移動」ボタンで「削除」を選択します。
「移動」ボタンで「削除」を選択し、「決定」ボタンを押して下さい。後ろから一文字ずつ消えていきます。
- (2) 正しい文字を入力し直します。

短縮ダイヤルを利用した
様々な設定

A. ワンタッチ通信ボタンで特定の番号にかけるには

ワンタッチで接続したい相手の電話番号を短縮ダイヤルに登録します。
サービスメニューの「27. 設定」を選択します。
「発信設定」のアイコンを選択します。
「ワンタッチ発信」発信先種別 - 短縮を選択します。
「ワンタッチ発信」発信先 - 登録した短縮ダイヤルの番号を選択します。

B. 通信履歴に残った番号を、短縮ダイヤルに登録するには

「ダイレクトネット」を選択して、決定ボタンを押します。
「通信履歴から接続」を選択してください。
通信履歴に残った番号を選択し、「*」を2回押すと、短縮ダイヤルに登録できます。

C. 登録していない相手からの着信を拒否するには

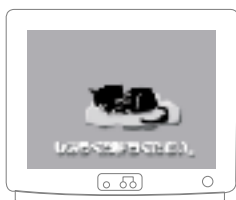
着信を許可する相手を、短縮ダイヤルに登録します。
「設定」メニューの「着信設定」を選択します。
発信者チェックを「オン」にします。

D. 短縮ダイヤルへの登録を許可もしくは禁止するには

「設定」メニューの「端末設定」を選択します。
「短縮ダイヤル登録」で、「許可」または「禁止」を選択します。

保留機能を使うには

通信中に「接続」ボタンを押すと、保留状態になります。



保留画面

(相手側に映る画面です。)



相手側に、左図のように「しばらくお待ちください」という画面が表示されます。

保留中は、

- ダイレクトネットの場合は、相手に保留音が聞こえます。
- こちらの音声は相手側には聞こえません。
相手からの音声は聞こえます。

もう一度「接続」ボタンを押すと、保留が解除されます。

③ アイコンを使いこなしましょう

バージョンアップ



TelePortは、通信回線を通じて最新のプログラムをダウンロードして頂くことができます。

画面上に「バージョンアップが必要です」と表示された場合は、新しいバージョンのプログラムがリリースされておりますので、お手すきの時にバージョンアップをして下さい。

ご購入頂いてから初めてお使いになる前には必ず、お持ちの端末をバージョンアップして下さい。
(最初のバージョンアップの際には、別紙の「クイックセットアップガイド」(カラー折込み)をご覧ください)



バージョンアップに必要な時間は、内容によって異なりますが数分～十数分です。

バージョンアップ作業はすべて自動的に行なわれます。サービスメニュー画面が出るまで、電源を切ったり回線ケーブルを引き抜いたりせずに、そのままお待ち下さい。

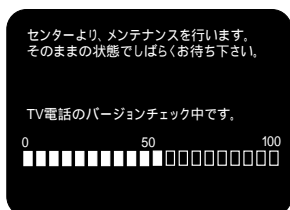
故障の原因となることがあります。

バージョンアップ中の画面

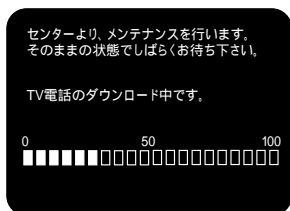
「24. 端末機バージョンアップ」アイコンを選択し、サービスの利用者を選んで下さい。

「決定」ボタンを押すと、以下のように画面に表示されます。

「3017 相手側が話し中(通信中)です」というメッセージが表示されて切断された場合は、回線が込み合っている状態ですので、しばらく待ってから再度おかけ直し下さい。



1.バージョン確認画面



2.ダウンロード中の画面

(1) 現バージョンの確認 <自動>

お持ちの端末のバージョンを確認します。30秒以上経っても左の画面にならない、または左の画面のまま変化しない場合は、一旦ブレイク(切断)して、ギンガネットテクニカルサポート(06-7688-1717)までお問い合わせ下さい。

(2) ダウンロード開始 <自動>

お客様の端末が、旧バージョンのものであれば、自動的にバージョンアップを開始します。

(3) 回線切断・再起動 <自動>

バージョンアップが終了すると、自動的にブレイク(切断)されます。その後、自動的にサービスメニュー画面に戻ります。

(4) チェックインテスト

サービスメニューの「25. チェックインテスト」にチェックインし、正常に通信できることをご確認ください。

(24「チェックインテストをしましょう」)

ダウンロードが不要な場合があります。

お持ちの端末が既に最新のバージョンの場合は、ダウンロードの必要がありません。その場合、上記「(1)現バージョンの確認」の後、画面上に「この端末は最新のバージョンです」というメッセージが表示されます。

「サービス」ボタンを押して、サービスメニュー画面に戻って下さい。

回線を切断しました。

この端末は最新のバージョンです。
このままご使用いただけます。

取消でサービスメニューに戻ります。
0016 正常に切断しました。

チェックインテスト



チェックインテストでは、お持ちのTelePortが正常に映像と音声を受信できているかを確認して頂くテストビデオを連続再生しています。

ビデオの内容は、TelePortの使用方法説明となっております。初めてチェックインテストのテストビデオをご覧になる方は、すべての項目をよくご覧下さい。

チェックインテストが必要な時

- A. 画面上に「チェックインテストをして下さい」というメッセージが表示された時
メッセージが表示されているにも関わらずチェックインテストを行わなかった場合、通信中に切断されてしまうことがあります。
- B. 時計が合わなくなった時・・・チェックインテストにはTelePortの時計合わせ機能も付いています。
画面右上に表示される時計が合わなくなった時は、チェックインテストにチェックインして下さい。
- C. 使用環境が変わった時・・・TA(DSU)をお買い替えになった時、お部屋の模様替えや大掃除の後など、ご使用の環境が変化した時には、必ずチェックインテストで正常な通信ができるかどうかを確認して下さい。
- D. バージョンアップの直後

正常な通信ができない、すぐに切断されてしまう等の問題が生じた場合は、ギンガネットテクニカルサポート(06-7688-1717)までご連絡下さい。

ギンガネットクラブ情報



ギンガネットクラブ会員の皆様にお届けする、お知らせビデオを放映しております。
新たなサービスや、バージョンアップのお知らせ等を随時更新しておりますので、定期的にご覧下さい。

サポートダイヤル



TelePortの使用方法を始め、ギンガネットクラブに関するご質問等に、サポートスタッフが、ギンガネット電話にて対応させていただきます。

拡張機能



別売りのオプションカードを利用します。TelePort 本体側面の「拡張」スロット(図 10 「右側面図」)にオプションカードを差し込むと、新たな機能を追加できます。

設定



TelePortはお客様のご使用状況に合わせて、様々な設定をして頂くことができます。
より快適な環境でお使い頂けますよう、以下の設定方法をご参照下さい。



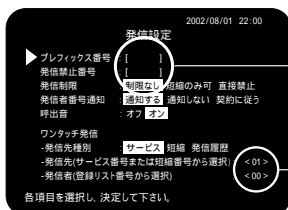
設定メニュー画面

サービスメニューより「27. 設定」を選択し、「決定」ボタンを押します。(リモコンの「設定」ボタンを押しても同じ画面を表示できます。

よく使う設定リスト

1. 使っていない時、自動的に電源をオフにするには ----- 「端末設定」- 「自動スタンバイ」
2. 音質を調節するには ----- 「映像音声設定」- 「音声出力モード」
3. 発信時、電話番号の頭に自動的に0をつけてかけるには ----- 「発信設定」- 「プレフィックス番号」
4. 相手に、自分の電話番号や名前を通知してかけるには ----- 「発信設定」- 「発信者番号通知」
5. ワンタッチ通信ボタンの接続先を設定するには ----- 「発信設定」- 「ワンタッチ発信」
6. かかってきた電話に自動的に応答するには ----- 「着信設定」- 「自動応答」
7. 着信音量を調節するには ----- 「着信設定」- 「着信音量」
8. TelePortの機能をテストするには ----- 「保守」- 「機能診断」
9. 登録済の設定をすべて消去するには ----- 「保守」- 「登録データ全消去」

設定方法



1. 設定したい項目に左端の三角のマーク(▶)を合わせます。
2. 以下A. B.いずれかの方法で設定項目内容を入力します。

A. 文字を入力する場合 ([] で表示されます)

まず「決定」ボタンを押し、文字入力の画面になったら、入力して「決定」ボタンを押します。

B. 選択肢がある場合 (< > で表示されます)

「移動」ボタンを左右に押して、希望の設定を選択した後「決定」ボタンを押します。



会員情報設定

2002/08/01 22:00

会員情報登録

▶ 01.会員名 : []
会員番号 : [01234567]
暗証番号 : [XXXX]
暗証番号を保存する : はい いいえ
ISDN電話番号 : []
サブアドレス : []

消去
完了
中止

会員名

登録したい会員の名前を入力します。

この項目に名前を入力しておくと、会員リスト上に表示されるので分かりやすくなります。会員名を登録しておくと通信中、相手端末に表示されます。ご注意下さい。

(46「文字入力をマスターしましょう」)

会員番号

登録したい会員の会員番号(IDナンバー)を入力します。

暗証番号

暗証番号(パスワード)を保存したい場合には、ここに数字を入力します。



暗証番号は、別紙「登録内容確認票」に記載されている番号を入力して下さい。
ご自分で決めた番号を入力しても無効です。

暗証番号を保存する

暗証番号を保存するか否かを選択します。

保存した場合、暗証番号をチェックインの度に入力する必要がないので便利です。ただし、登録している会員以外の方でも、サービスを利用することができますので、その点をご了承の上、保存して下さい。

ISDN電話番号

ご使用のISDN回線の電話番号を入力します。

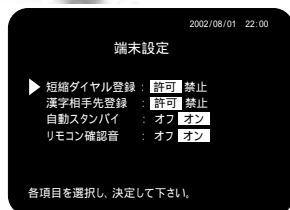
サブアドレス

ISDN電話番号に続けて、好きな番号を登録することができます。通信相手が、サブアドレスまで指定してかけると、同じTA(DSU)に通信機器を複数台接続している場合、ギンガネット電話のみに着信させることができます。

また、複数会員で使用している場合、会員ごとにサブアドレスを指定することができます。通信相手は、会員を指定してかけることができます。(66「用語集-サブアドレス」)



端末設定



短縮ダイヤル登録

短縮ダイヤル登録の許可もしくは禁止を設定します。

(お買い上げ時の設定では「許可」)

漢字相手先登録

短縮ダイヤル等、相手先の名前を登録する際、漢字の使用許可もしくは禁止を設定します。(お買い上げ時の設定では「許可」)

自動スタンバイ

何も操作をせずに一定時間(5分)が過ぎると、自動的に電源をオフにする設定ができます。

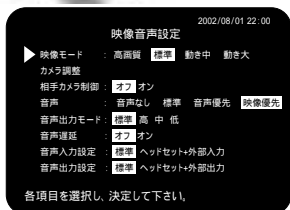
(お買い上げ時の設定では「オン」)

リモコン確認音

リモコンを押した時に、ヘッドセットから確認音を鳴らすか否かを選択できます。確認音は、正しいときには「ピッ」、間違えて押したときには「ブッ」と鳴ります。(お買い上げ時の設定では「オン」)



映像音声設定



映像モード

映像の4つのモードを切り替えます。(高画質 / 標準 / 動き中 / 動き大)

(左へ行くほど高画質に、右へ行くほど動きがスムーズになります)

(お買い上げ時の設定は標準)

カメラ調整

カメラ映りを調整します。

～調整方法～

(1)「カメラ調整」に三角のマーク(▶)を合わせ「決定」ボタンを押します。

(2)調整したい項目に三角のマーク(▶)を合わせます。

(3)「移動」ボタンで設定値を変更します。

各設定値は -16 ~ +16 まで変更できます。

(電子ズームは 00 ~ +16 まで変更可能)

カメラ映りを確認しながら、お好みの数値に設定して下さい。

「標準に戻す」に三角のマーク(▶)を合わせ「決定」ボタンを押すと、すべての値が 00 に戻ります。

(4)「戻る」を選択し、「決定」ボタンを押すと映像音声設定メニュー画面に戻ります。

調整できる項目は、以下の7項目です。(カメラを外付けした場合は5項目です)

[1]明るさ...明るさを調整します。値が増えるほど明るくなります。-16 ~ +16 まで変更できます。(お買い上げ時の設定では「00」)

[2]コントラスト...被写体の明暗の差を設定します。値が増加するほど差がはっきり映ります。

-16 ~ +16 まで変更できます。(お買い上げ時の設定では「00」)

[3]色の濃さ...色の濃度を調整します。値が増加するほど濃くなり、減少するほど薄くなります。

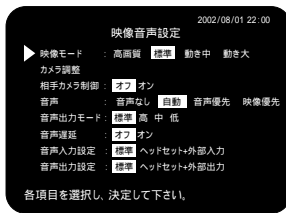
-16 ~ +16 まで変更できます。(お買い上げ時の設定では「00」)

[4]色合い...-16 ~ +16 まで変更できます。(お買い上げ時の設定では「00」)

[5]電子ズーム...00 ~ +16 まで変更できます。(お買い上げ時の設定では「00」)



カメラ調整画面



音声出力モード

出力音質を選択できます。標準 / 高 / 中 / 低 (お買い上げ時の設定では「標準」)

音声遅延

映像と音声のずれを補正します。(お買い上げ時の設定は「オフ」)

音声入力設定

標準: ヘッドセット(マイク)接続時に外部音声入力をオフにします。

ヘッドセット+外部入力: マイク入力と外部音声入力をミックスします。

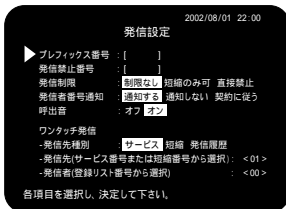
音声出力設定

標準: ヘッドセット(スピーカ)接続時に外部音声出力をオフにします。

ヘッドセット+外部出力: ヘッドセット(スピーカ)出力と外部音声出力双方に同じ音声を出します。



発信設定



プレフィックス番号

「サービスメニュー」「通信履歴」「短縮」の画面で、0発信等を行いたい場合、設定します。予めここで番号を登録しておき、チェックイン時にプレフィックスを「有」にすると、この番号が入力した電話番号の前に自動的に付きます。

発信禁止番号

「ある特定の市外局番」など、ここで設定した番号から始まる電話番号の相手への発信を禁止することができます。

発信制限

発信方法の制限を行うことができます。制限方法は以下3種類あります。(お買い上げ時の設定では「制限なし」)

- (1) 制限なし
- (2) 短縮ダイヤルでの発信のみ許可
- (3) 直接禁止 電話番号を入力しての発信を禁止します。(お買い上げ時の設定では「制限なし」)

発信者番号通知

通信時、相手側に電話番号および会員名を通知するか否かを選択できます。

(お買い上げ時の設定では「通知する」)

呼出音

呼出音のオンもしくはオフを切り替えます。(お買い上げ時の設定では「オン」)

ワンタッチ発信

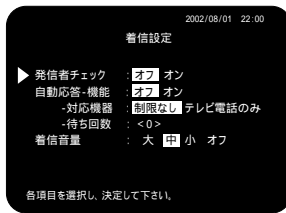
ワンタッチ通信ボタンを押した時に、発信する先を設定できます。

お買い上げ時の設定では、ボタンを押すと「01. 予約済サービスへワンタッチでチェックイン」につながります。

- (1) 「発信先種別」 サービスメニュー / 短縮ダイヤル / 発信履歴
- (2) 「発信先」 「発信先種別」で選択した中の、どの番号かを選択します。
(お買い上げ時の設定では「サービス - 01. 予約済サービスへワンタッチでチェックイン」)
- (3) 「発信者」 会員情報リストより、どの会員が発信するかを選択します。「00. 番号を直接入力する」を選択した場合は、ワンタッチ通信ボタンを押すごとにサービス利用者を変更することができます。



着信設定



発信者チェック

オンにすると、短縮ダイヤルに登録している方からの着信にのみ応答できます。それ以外は、自動的に拒否します。(お買い上げ時の設定は「オフ」)

自動応答 - 機能

ダイレクトネット利用時、相手からの着信に自動で応答する機能です。オンにすると自動応答します。オフの場合は、手動応答です。(お買い上げ時の設定はオフ)

自動応答 - 対応機器

どの機器に自動応答するかを設定します。(お買い上げ時の設定は「制限なし」)

自動応答 - 待ち回数

自動応答時に鳴らす着信音の長さを設定します。設定値を1上げるとに着信音が3秒間ずつ長く鳴ります。(お買い上げ時の設定は「0」)

着信音量

着信音量を選択し、設定します。(お買い上げ時の設定は「中」)



保守



機能診断

ご自分の音声・映像・回線の状態をチェックできます。

～診断方法～

- (1) 「映像」「音声」「ISDN」のうち、チェックしたい項目を選択し、「決定」ボタンを押します。
 - (2) 別の項目をチェックする場合は、一旦「停止」を選択し、「決定」ボタンを押します。
- 「映像」: 相手側に送信するご自身の映像が表示されます。
「音声」: 相手側に送信するご自身の音声ヘッドセットから聞こえます。
「ISDN」: 回線を使用した場合の、映像と音声を併せて確認できます。
回線ケーブルが接続されていない場合は「回線はずれ」のメッセージが表示されます。

管理者コード

正しい管理者コード(最初に登録する数字)を入力した場合だけ、各種設定画面が表示されるようになります。コードを入力しないと、各種設定画面が表示されません。

登録データ全消去

会員情報・短縮ダイヤル・通信履歴・端末情報等、ご自身で入力したデータすべてを消去します。

端末リセット

端末の設定をすべて初期状態に戻します。

TelePort 301/TelePort 301G情報

TelePortに関する情報が記載されています。

ソフトウェア/ハードウェア/シリアル番号/製造元

議長機能サービス

ミーティングネットに参加している会員の中から議長役を決め、議長がミーティングネット参加各端末の画面構成や画面分割数の変更等を行えるサービスです。

このサービスをご利用いただくにはミーティングネットオプションサービス「議長機能」サービスにお申し込み頂く必要があります。サービス内容や料金については別紙「通信回線インフォメーション」をご参照下さい。

ご利用までの流れ

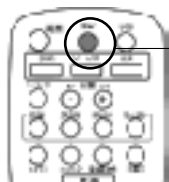
- 1** <ミーティングネットご利用前>ミーティングネットサービスの予約時に「議長機能」サービスを申し込む。
 ミーティングネットサービスの予約時にオプションサービス「議長機能」を申し込みます。
 予約時に議長機能を利用できない会員を決めることもできます。その場合は予約時にオペレーターにお申し出下さい。
- 2** <ミーティングネットご利用中>ミーティングネット参加端末の中から議長を決定する。
 ミーティングネットサービスに接続した参加端末の中から、ミーティングネットの設定等を変更できる権限を持った「議長」端末を決定します。議長権の獲得方法(60「議長権」)
 議長機能には議長のみが使用可能な機能と、議長以外の端末でも使用できる機能があります。

	受信選択	同報送信	画面構成	会議モード	議長権	予約延長	自室送信
議長	○	○	○	○	○	○	
議長以外の参加端末	○				○		○
- 3** 議長機能を利用する。
 ミーティングネットサービスご利用中に議長機能を利用することができます。

議長機能メニュー画面



設定メニュー画面



- (1) リモコンの「設定」ボタンを押します。
設定メニューアイコンが表示されます。



議長機能メニュー画面



- (2) もう一度リモコンの「設定」ボタンを押します。
議長機能メニューアイコンが表示されます。



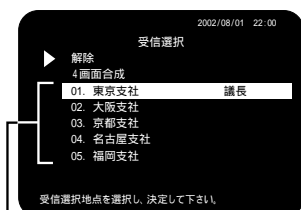
議長機能メニューは「議長機能」サービスを申し込んだ上で、ミーティングネットに接続した時にのみ表示させることができます。
非通信中や「議長機能」サービスに申し込みしていない時は、議長機能メニューを表示させることはできません。

議長機能メニューアイコンの説明



受信選択 (議長 / 議長以外の端末どちらも操作可能)

選択した端末のカメラからの映像を自分の端末にだけフルスクリーンで表示させることができます。他の地点の端末の画像は変わりません。



受信選択画面

解除

選択していた画面構成を元の状態に戻します。

4画面合成

フルスクリーンから4分割の画面に変更することができます。

「12+1」分割画面/16分割画面サービスご利用の際にはこの機能を利用することができません。

端末の選択(フルスクリーン表示時)

見たい相手を選びます。

01. は自分の端末になります(反転表示されます。)

02. 以降はミーティングネットの他の参加者が順に表示されます。

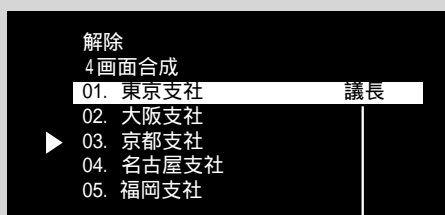
会員情報登録にて会員名を登録している場合は、数字の横に会員名が表示されます。会員名を入力していない場合は空欄となります。

(51 会員情報設定)

設定方法

1. 設定したい項目に左端の三角のマーク(▶)を合わせます。
2. リモコンの「決定」ボタンを押します。

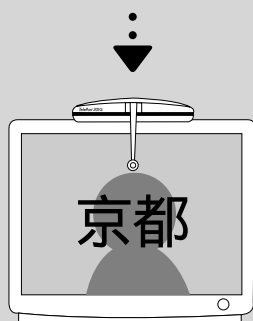
例) 東京、大阪、京都、名古屋、福岡の5地点の会員が順に接続し、東京の会員が京都の画面を表示したい場合



受信選択画面(拡大図)

リモコンの「移動」ボタンの上または下を押して三角のマーク(▶)を「03.京都」に

自分の端末が議長権を取得している場合には「議長」と表示されます。



東京の受信映像(受信画)

京都から送られてくる映像がフルスクリーンで表示されます。



同報送信 (議長のみ操作可能)

議長が送信元として選択した端末のカメラからの映像を、全端末()にフルスクリーンで表示させることができます。

同報送信元の端末の受信画は変更されません。



同報送信画面

解除

選択していた画面構成を元の状態に戻します。


端末の選択

送信元となる端末を選択します。

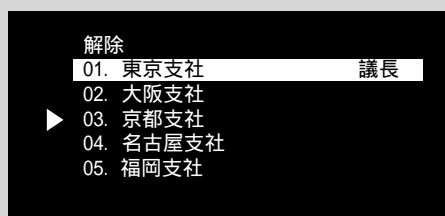
01. は自分の端末になります (反転表示されます。)

02. 以降はミーティングネットの他の参加者が順に表示されます。

会員情報登録にて会員名を登録している場合は、数字の横に会員名が表示されます。会員名を入力していない場合は空欄となります。

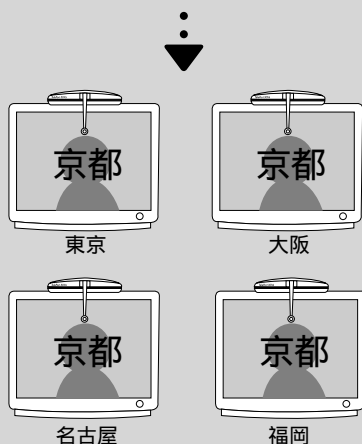
( 51「会員情報設定」)

例) 東京、大阪、京都、名古屋、福岡の5地点の会員が順に接続し、東京の会員が京都の画像画面を同報送信したい場合



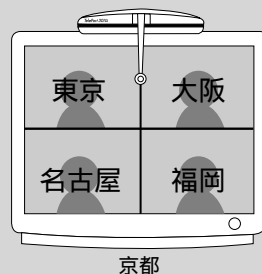
同報送信画面 (拡大図)

リモコンの「移動」ボタンの上または下を押して三角のマーク(▶)を「03. 京都」に合わせ、「決定」ボタンを押します。



同報送信元以外の会員の受信映像 (受信画)

京都の映像 (送信画) が京都以外の参加端末にフルスクリーンで表示されます。



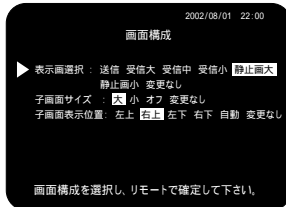
同報送信元 (京都) の端末の受信画は変更されません。



画面構成 (議長のみ操作可能)

選択した端末の画面構成を変更することができます。

(1) 変更したい画面構成を決めます。



画面構成画面 (1)



表示画選択

選択した端末の画面に表示させる映像の種類を決めることができます。

送信 / 受信大 / 受信中 / 受信小 / 静止画大 / 静止画小 / 変更なし

子画面サイズ

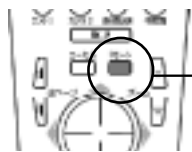
選択した端末の子画面のサイズを決めることができます。

大(1/4サイズ) / 小(1/9サイズ) / 変更なし

子画面表示位置

選択した端末の子画面の位置を決めることができます。

左上 / 右上 / 左下 / 右下 / 自動 / 変更なし



～ の画面設定を選択し、リモコンの「リモート」ボタンを押すと、下図 [画面構成画面 (2)] になります。

続いて、画面構成を変更したい端末を選択して、「決定」ボタンを押すと、画面構成の変更が適応されます。



(2) 変更したい端末を選びます。



画面構成画面 (2)

全端末

議長以外の全端末の画面構成を変更します。

端末の選択

選択した端末の画面構成を変更することができます。

01. は自分の端末になります (反転表示されます。)

02. 以降はミーティングネットの他の参加者が順に表示されます。

会員情報登録にて会員名を登録している場合は、数字の横に会員名が表示されます。会員名を入力していない場合は空欄となります。

(51「会員情報設定」)

例) 東京 (議長) が表示画選択: 「静止画大」、子画面サイズ: 大、子画面表示位置: 右上で名古屋の端末の画面構成変更を行った場合。



名古屋の画面構成

名古屋の受信画には「静止画」、画面右上には「1/4サイズの子画面」が表示されます。



東京



大阪



京都



福岡

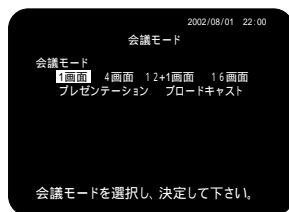
名古屋以外の端末の画面構成は変更されません。

名古屋以外の端末の受信映像 (受信画)



会議モード (議長のみ操作可能)

ミーティングネットサービスの会議モードを変更することができます。



会議モード画面

会議モード

会議モードを下記の6つの中から選択し、全端末の受信画を変更することができます。

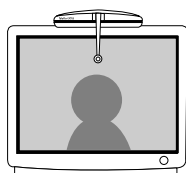
1画面 / 4画面 / 12+1画面 / 16画面 / プレゼンテーション / ブロードキャスト

12画面と16画面モードを選択するためには、ミーティングネット予約時に予め別途オプションサービスを申し込む必要があります。




ミーティングネットオプションサービス「12+1分割画面サービス」、「16分割画面サービス」を利用中にはプレゼンテーションモードとブロードキャストモードをご利用頂くことができませんのでご注意ください。

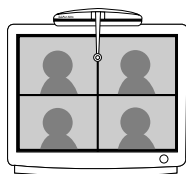
会議モードの種類



1画面(フルスクリーン)モード

ミーティングネット参加者の送信画がフルスクリーンで表示されます。

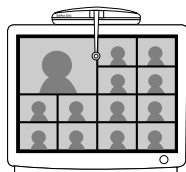
3人以上参加者がいる場合は音声切替機能により、声を発した人がフルスクリーンに表示されます。( 36「チェックイン中のご注意」)



4画面モード

ミーティングネット参加者が4分割画面で表示されます。

5人以上参加者がいる場合は画面に表示されていない人が声を発すると、音声切替機能により、4分割画面に表示されます。

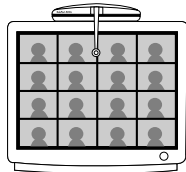


12+1画面モード

ミーティングネット参加者が12+1分割画面で表示されます。

声を発した人の送信画が1/4サイズの大画面に表示されます。

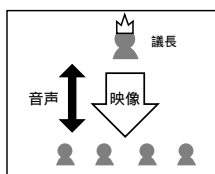
14人以上参加者がいる場合は画面に表示されていない人が声を発すると、音声切替機能により、1/4サイズの大画面に表示されます。



16画面モード

ミーティングネット参加者が16分割で表示されます。

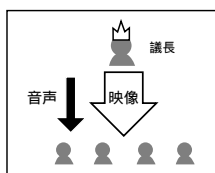
17人以上参加者がいる場合は画面に表示されていない人が声を発すると、音声切替機能により、16分割画面に表示されます。



プレゼンテーションモード

議長以外の端末には議長の送信画がフルスクリーンで表示されます。音声のやりとりは全員ができ、議長の受信画には声を発した人の送信画がフルスクリーンで表示されます。

議長が受信選択機能を利用することにより、議長の受信画を変更することが可能です。



ブロードキャストモード

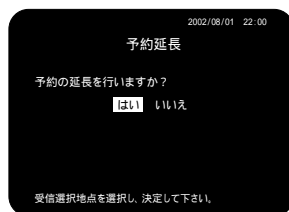
議長以外の端末には議長の送信画がフルスクリーンで表示されます。音声も議長の音声のみ聞くことができます。議長の受信画には議長以外の参加会員の送信画が20秒ごとにフルスクリーンで切り替わります。

議長が受信選択機能を利用することにより、議長の受信画を変更することが可能です。



予約延長 (👤 議長のみ操作可能)

予約した会議の終了時間を30分延長することができます。



[予約延長画面]

予約延長

予約を延長する場合「はい」を選択し、リモコンの「決定」ボタンを押します。

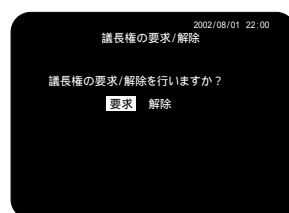
予約状況によっては延長できない場合もございますので予めご了承下さい。

端末からできる予約延長操作は1会議につき1回のみにになります。2回目以降の延長を希望される場合は、ミーティングネット予約ダイヤル(06-7688-1212)へお電話にてご連絡下さい。



議長権 (👤 議長 / 👤 議長以外の端末どちらも操作可能)

議長機能を利用できる端末の中から1台のみ議長の権利を獲得することができます。また、議長は自分の議長権を解除することができます。



[議長権画面]

議長権-要求

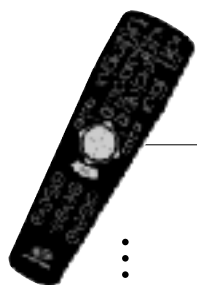
議長になりたい場合は「要求」を選択し、リモコンの「決定」ボタンを押すと議長権を獲得できます。

他の参加端末が議長権を獲得している場合は、議長権を獲得することはできません。その際は、「議長権要求は拒否されました。」と表示されます。

議長権-解除

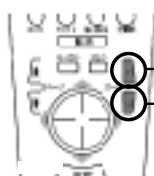
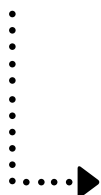
議長の権利を解除したい場合は「解除」を選択し、リモコンの「決定」ボタンを押すと議長権を解除することができます。

この操作を行うと、ミーティングネットに参加している他の端末が議長権を要求することができるようになります。



自室送信 (👤 全参加端末で操作可能)

自分の端末のカメラ映像(送信画)を自分以外の参加端末にフルスクリーンで表示させることができます。



リモコン(拡大図)

リモコンの「T」ボタンを押します。

自分以外の参加端末にカメラ映像(送信画)がフルスクリーンで表示されます。

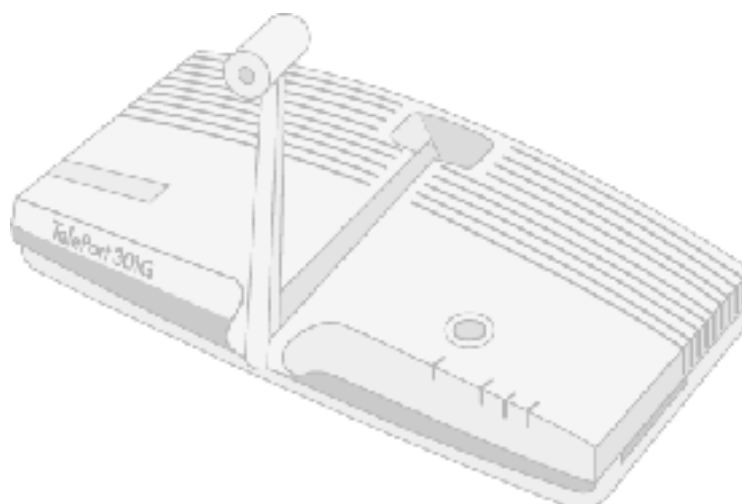
リモコンの「W」ボタンを押します。

自室送信機能を解除します。



参加端末のいずれかが議長権を取得した状態では、全ての参加端末で自室送信機能は使えません。

① 困った時は...	
● 症状を確認しましょう	62
● 画面表示を確認しましょう	63
● エラーコードを確認しましょう	64
② 用語集	65
③ よくある質問とその回答	67
④ オプション一覧	68
⑤ 主な仕様	69



① 困った時は・・・

症状を確認しましょう

起きていること	原因
画面が真っ暗	テレビの電源は入っていますか？入っていない場合は、電源を入れて下さい。
	テレビのチャンネルは合っていますか？映像用ケーブル(黄色)を接続したテレビ側の端子と同じ名前のチャンネルに合わせて下さい。
	映像用ケーブル(黄色)はしっかりと接続されていますか？ テレビ側とTelePort本体側の映像用ケーブルを、しっかりと差し込み直して下さい。
	TelePort本体の主電源は入っていますか？ 本体の電源プラグをコンセントに差し、主電源を「入」にして下さい。
	TelePort本体の電源ランプがオレンジ色(オフの状態)になっていませんか？ リモコンの「電源」ボタンを押して、緑色に点灯させて下さい。
	リモコンの「カメラ2」ボタンを押した状態になっていませんか？ リモコンの「カメラ1」ボタンを押して、内蔵カメラの映像に切り替えて下さい。
	カメラを収納したままではありませんか？ カメラを起こして、ご自身の方にレンズを向けて下さい。
画面が真っ青	テレビのチャンネルは合っていますか？映像用ケーブル(黄色)を接続したテレビ側の端子と同じ名前のチャンネルに合わせて下さい。
メニューアイコンは映るが、背景が真っ暗である	リモコンの「カメラ2」ボタンを押した状態になっていませんか？ リモコンの「カメラ1」ボタンを押して、内蔵カメラの映像に切り替えて下さい。
	カメラを収納したままではありませんか？ カメラを起こして、ご自身の方にレンズを向けて下さい。
画像が乱れている	映像用ケーブル(黄色)はしっかりと接続されていますか？ テレビ側とTelePort本体側のケーブルを、しっかりと差し込み直して下さい。
画面の端が切れている	テレビ画面の表示位置がずれている可能性があります。 テレビ本体で、画面の表示位置の調節を行って下さい。
画面全体が真っ黒で子画面に4(16)分割画面またはご自身が映っている	ご自身、もしくは通信している相手の方が、リモコンの「静止画送信」ボタンを押してしまった可能性があります。 リモコンの「受信画」ボタンを押して、もとの画面に戻して下さい。
静止画が画面全体に映っていて、子画面に4分割画面またはご自身が映っている	ご自身、もしくは通信している相手の方が、リモコンの「静止画送信」ボタンを押してしまった可能性があります。 リモコンの「受信画」ボタンを押して、もとの画面に戻して下さい。
4分割画面の中にご自身が2人映っている	子画面が表示されてしまっている可能性があります。 リモコンの「子画面」ボタンを押して、もとの画面に戻して下さい。
4(16)分割画面の中にご自身の映像がない	4分割画面に5人以上、または16分割画面に17人以上接続している場合に起こります。画面は、音声に応じて、画面上に映る人が切り替わります。声を大きめ、かつ長めに出して下さい。

起 こ っ て い る こ と	原 因
相手の音声が届かない	相手の方のヘッドセットの差し込み口はゆるくなっていませんか？ ヘッドセットを本体から一度抜いて、しっかりと差し込み直して下さい。
	ヘッドセットを本体にきちんと差し込んでいますか？ もしくは、ヘッドセットをしっかりと装着していますか？ 音声は、テレビからではなく、ヘッドセットから聞こえます。
	相手の方のマイクの向きや口元からの距離は正しいですか？音量レベルメータで適正値になるように調整して下さい。(42「状態」)
	音量が小さ過ぎませんか？標準音量は「7」です。 小さすぎる場合は、リモコンの音量ボタンを押して、音量を上げて下さい。
こちらの音声が届かない	ご自分のヘッドセットの差し込み口はゆるくなっていませんか？ ヘッドセットを本体から一度抜いて、しっかりと差し込み直して下さい。
	ご自身の方のマイクの向きや口元からの距離は正しいですか？音量レベルメータで適正値になるように調整して下さい。(42「状態」)
	画面上に「マイクオフ」というメッセージが表示されていませんか？ リモコンの「マイクオフ」ボタンをもう一度押して、マイクオフを解除して下さい。
リモコンが効かない	リモコンをテレビに向けて操作していませんか？ TelePort本体に向けて操作して下さい。
	リモコンの電池が切れていませんか？ 電池を交換する際には、正しい向きで2本同時に行って下さい。

上記を確認しても解決しない場合は、

ギンガネットテクニカルサポート(06-7688-1717) までご連絡下さい。

画面表示を確認しましょう

TelePortの画面には、端末の状態が表示されることがあります。

回線はずれ: TelePort本体の「回線」端子とTA(DSU)側の「S/T」端子に回線ケーブルが正しく接続されているか確認して下さい。

TA(DSU)と壁のモジュージャックが正しく接続されているか確認して下さい。

VDWN : 内蔵カメラ故障です。修理についてはギンガネットテクニカルサポート(06-7688-1717)までご相談下さい。

PAR : 本体のメモリ故障です。修理についてはギンガネットテクニカルサポート(06-7688-1717)までご相談下さい。

<ISDN回線上でエラーが出ている場合に表示されるメッセージ>

通信を開始した直後には下記の文字が表示されることがありますが、これは正しい動作で、異常ではありません。

VREC / REC / CRC / FEC / 相手REC

通信の途中で、突然上記のような文字が出たり、文字が表示されたまま2～3分以上そのままの画面で動かなくなってしまった場合などは、ギンガネットテクニカルサポート(06-7688-1717)までお問い合わせ下さい。

エラーコードを確認しましょう

自動的に切断されてしまう時は...

各サービスにチェックインしようとして回線が切断されると、画面左下に必ず4桁の数字(エラーコード)が表示されます。手順に従って確認して下さい。

エラーコード	メッセージ	確認事項
0016	正常に切断しました。	通常、ご自分で正しく切断した時に表示されます。繰り返しこのコードで自動的に切断されてしまう場合には、ギンガネットテクニカルサポート(06-7688-1717)までお問い合わせ下さい。
0997	チェックインテストをして下さい。	主電源を一旦「切」にする、またはコンセントを抜く则表示されます。サービスメニューの「25.チェックインテスト」を行って下さい。繰り返し「25.チェックインテスト」を行ってもこのコードで回線が切断されてしまう場合は、ギンガネットテクニカルサポートにお問い合わせ下さい。
1017	相手側が話中(通信中)です。	しばらくたってから、もう一度おかけ直し下さい。繰り返しこのコードで自動的に切断されてしまう場合は、ギンガネットテクニカルサポートまでお問い合わせ下さい。
1027	相手側の電源が切れてます。	速やかにギンガネットテクニカルサポートまでお問い合わせ下さい。
1034 3034 5034	相手端末と通信できません。	電話やFAX、インターネットなどを使用していませんか？ ISDNは電話2本分の働きをしますが、TelePortはその2本分の働きを全て使用します。電話機やインターネット等で2Bチャネルまたは1Bチャネルを使用しているとTelePortで通信を行うことができません。 他の機器全てが使用中でないことを確認の上、もう一度おかけ直し下さい。 お心当たりのない場合は、お使いのTA(DSU)の電源を入れ直して下さい。
1041	回線異常です。	速やかにギンガネットテクニカルサポートまでお問い合わせ下さい。
2901	相手側を呼びましたが、誰も出ません。	速やかにギンガネットテクニカルサポートまでお問い合わせ下さい。
2985 2986 2989	その他の異常です。	しばらくたってからもう一度おかけ直し下さい。 繰り返しこのコードで自動的に切断されてしまう場合には、ギンガネットテクニカルサポートまでお問い合わせ下さい。
2987	もう一度おかけ直し下さい。	
2995	予約日時を確認して下さい。	会員情報リストにて、予約している会員を正しく選択していますか？ チェックインは必ず画面右上に表示されている時計を基準に各サービスの指示に従って下さい。(チェックインする時刻が早すぎると、前の予約の会員がサービス使用中のためチェックインできないことがあります。)
2999	会員番号または暗証番号が違います。	「登録内容確認票」に記載された会員番号と暗証番号を入力していますか？ ご自分で決められた暗証番号を入力されても無効です。どの数字を入力しても「XXXX」と表示されますので入力間違いにご注意下さい。
3017 5017	相手側が話し中(通信中)です。	しばらくたってから、もう一度おかけ直し下さい。 ダイレクトネット以外で繰り返しこのコードで自動的に切断されてしまう場合は、ギンガネットテクニカルサポートまでお問い合わせ下さい。 「24.バージョンアップ」をしようとしてこのエラーコードが出た場合は回線が混み合ってます。
3026	着信が取り消されました。	TelePortと同じISDN回線を使用している別の機器(電話、FAX、TA)が着信しました。「取消」ボタンでサービスメニューに戻ります。 相手の方に再度かけ直して頂いて下さい。
3903	回線が外れています。	TelePort本体の「回線」端子とTA(DSU)側の「S/T」端子に回線ケーブルが正しく接続されているか確認して下さい。 TA(DSU)と壁のモジュージャックが正しく接続されるか確認して下さい。

2

用語集

ISDN(アイエスディーエヌ)

: Integrated Service Digital Network(総合デジタル通信網)

デジタル信号を送受信するために作られた回線です。従来の電話回線(アナログ回線)2本分の容量があるため、ISDNが1回線あればインターネットをしながら電話をしたりすることができます。「INSネット64」というNTTのサービス名称が一般的です。TelePortをご使用になるには、この「INSネット64」が必要です。

TelePortで通信する場合には、この2本分の容量(2Bチャンネル)をすべて使用します。したがって、TelePort通信中に同じ電話番号を持つ回線に電話がかかってくる場合、話中になりますので、ご注意ください。

TelePortを使用している間にかかってきた電話の着信履歴を残したい場合には、NTTの「通信中着信通知サービス」のご利用をお勧めします。さらに相手のメッセージを残したい場合は、NTTの「マジックボックス」というサービスもございます。(P.67「Bチャンネル」)

アース

家電製品や電気機器に接続し、機器に帯電した電気を放電します。アースは、漏電によって起きる感電・火災事故を防止するという非常に大切な役割を果たしています。アースはお近くの電器店でお求めになることができます。TelePort本体の背面に接続し(P.11「アース用端子」)、線の先端をアース端子付きコンセントに接続する、アース棒を使用して接地する、等の方法で取り付けて下さい。ご家庭の環境により接地方法が異なりますので、ご不明な点は電気工事店にご相談下さい。

S/T端子(エスティーたんし)

TelePortや、デジタル電話機・G4ファクシミリなどのISDN機器を接続するためのコネクタ(差し込み口)のことです。S/T端子は、TA(DSU)の種類により呼び名が異なります。

例: 「ISDN接続ポート」「S/Tラインコネクタ」「ISDN S/T点」などです。お持ちのTA(DSU)の取扱説明書にてご確認ください。(NTT「INSメイトV30Slim」接続例(P.17「回線ケーブルをつなぎましょう」))

サブアドレス

TelePortや電話機・ファクシミリ等の通信機器に設定する任意の内線番号のことです。

TelePortと電話機を同一回線[同じTA(DSU)]に接続している場合、その電話番号にかけると、両方とも着信します。

しかし、あらかじめ着信側の通信機器でこの「サブアドレス」を設定しておけば、個々の通信機器を指定して着信させることができます。(P.51「会員情報設定」)

終端抵抗(しゅうたんていこう)

DSUから一番遠くに位置する機器の終端に接続し、そこで「配線が終わりである」ということを示します。

終端抵抗を使わないと、ノイズにより、正常な通信ができなくなることがあります。TelePortには終端抵抗スイッチがついていますので、配線上の最後に接続した場合は、スイッチを「オン」に切替えて下さい。また、TA(DSU)や、モジュラジャックによっては終端抵抗が内蔵されているものもあります。それらの終端抵抗が「オン」になっている場合は、「オフ」に切替えて下さい。

(P.11「終端抵抗スイッチ」)


TelePort / TA(DSU) / モジュラジャックのうち、全ての機器の終端抵抗をオフにするか、終端の1台だけをオンにするかは、ご家庭の機器の使用状況や配線環境によって異なります。

TA(ティーエー)

: Terminal Adapter(ターミナルアダプタ)

これまで使用していた電話機やFAX・モデムなどをISDN回線で使用するための装置です。ISDN回線で送られてくるデジタル信号を、電話機やFAXが読み取れる信号に変換する役割を果たしています。箱型・ボード型・カード型など、様々な形状のものがあります。近年では、DSUを内蔵しているタイプのものがほとんどです。(P.67「DSU」)

チェックイン


ギンガネット電話で、各サービスに回線接続することです。( 28「サービスの利用方法を練習しましょう」)

DSU(ディーエスユー)

: Digital Service Unit (デジタル回線接続装置)

ISDN回線を利用するためには絶対に必要な装置です。(1回線につき1つ必要です)。

ISDN回線には、モジュラジャック(下の項目を参照)から接続するのが一般的です。

TelePortを接続する場合、モジュラジャック DSU TA TelePortの順に接続します。( 17)


TAがDSUを内蔵しているタイプの場合は、 が省略されます

Bチャンネル(ビーチャンネル)

ISDN(INSネット64)は、複数の「チャンネル」という通信路で構成されています。このチャンネルのうち「Bチャンネル」は、音声やデータ等の情報を送受信する役割を持っています。

INSネット64には2Bチャンネルあるので、「電話+インターネット」「電話+FAX」などという組み合わせであれば、同時に使用できます。しかしTelePort使用時には、通常2Bチャンネルとも必要とするので、他の機器は同時にはお使い頂けません。(電話がかかってきた場合は話中になります。)他の機器すべてが使用中でないことを確認してからご使用下さい。


ブレイク

接続しているサービスから、回線切断することです。( 25「ブレイク(切断)しましょう」)

モジュラジャック

回線に接続するためのコネクタ(差込み口)のことです。ご家庭用としては、住宅の壁に埋め込まれたコンセントのような形状か、壁に取り付けてある小さな箱のような形状をしているのが一般的です。アナログ回線の場合は、このモジュラジャックに直接電話を接続して通話することができます。

モジュラケーブル

アナログ電話機用のケーブルです。モジュラジャックとTA(DSU)や、TA(DSU)とアナログ電話機を接続する際に使用します。いわゆる普通の「電話線」に相当するもので、TelePortに付属の回線ケーブル( 9)とは、接続部分のサイズやケーブルの太さが異なります。

3 よくある質問とその回答

Q1 TelePort設置の派遣サービスはありますか？

弊社では、スタッフ派遣による設置サービスを行っておりません。Teleportは非常に組み立てやすくなっておりますので、ご自身で簡単に設置して頂くことができます。別紙「クイックセットアップガイド」をご参照頂いた上で、万が一ご不明な点がございましたら、ギンガネットテクニカルサポート(06-7688-1717)までお電話下さい。スタッフが電話にてTeleportの設置方法をご案内いたします。

Teleport以外の機器(テレビ・パソコン・DSU・TA等)の設置について、弊社はサポートを行っておりません。

各機器のメーカー及び販売店等にお問合せ下さい。または有料の設置訪問サポート業者のサービスをご利用下さい。

Q2 テレビの「外部入力」に空きがありません

既にビデオ等を接続しているためテレビの「外部入力」に空きがない場合、TelePortをお使いになるたびに差し替えて頂ければ利用可能です。その都度差し替えをするのが面倒であれば、ビデオデッキ経由での接続「ビデオ・セクタ」等の切替機を利用する、などの方法があります。いずれも、電器店などにお問合せ下さい。ご不明な点がございましたら、電器店の方からギンガネットテクニカルサポート(06-7688-1717)までお電話頂いても結構です。

Q3 回線への接続部分とTelePortを設置する場所が離れているのですが・・・

TelePort付属の回線ケーブルは10m(ストレート・カテゴリ5・8極8芯)です。TelePortから通信機器(TA・DSU)までの距離が10m以上の場合は、必要な長さの回線ケーブルをご自身でご購入下さい。パソコンショップや電器店などでお求め頂くことができます。「ストレートのLANケーブル(カテゴリ5・8極8芯)」とご指定下さい。

Q4 通信中、話中になると困るのですが・・・

TelePortの通信には、ISDN 1回線すべて(従来の電話回線2本分)を使用します。TelePortを使用している間は、電話やインターネットを同時にご利用頂くことができません。TelePortを使用している間にかかってきた電話の着信履歴を残したい場合にはNTTの「通信中着信通知サービス」のご利用をお勧めします。さらに、相手のメッセージを残したい場合は、NTTの「マジックボックス」というサービスもございます。

詳しくはNTTにお問合せ下さい。(44「通信履歴からかけるには」)

Q5 パソコンのモニターでTelePortの映像を見たいのですが・・・

テレビの代わりとしてパソコンのモニターをご利用になるには、お客様のパソコンに合った「アップスキャンコンバータ」もしくは「ビデオキャプチャボード」が必要です。いずれも、パソコンショップなどでお求め頂くことができます。「パソコンでビデオ機器の映像を見たい」などとお申し出下さい。ご不明な点等ございましたら、お店の方からギンガネットテクニカルサポート(06-7688-1717)までお電話頂いても結構です。

注意: TelePortは、ご家庭のテレビを使ってご使用になることを前提に開発されたものです。よってテレビの代わりとしてパソコンのモニターをご利用になる場合、その設置と運用はお客様ご自身の責任においてお願い致します。弊社ではパソコンのサポートをすることはできません。

例えば、お客様のパソコンの不具合でサービスをお受けになれなかった場合、それに関わる料金は一切お返しすることができません。

Q6 通信料について

別紙「通信回線インフォメーション」をご覧ください。

Q7 一般の電話機と通話できますか？

ISDN回線で使用しているギンガネット電話、一般の電話(加入電話)、携帯電話、PHSとの通話が可能です。

③ オプション一覧

オプション機器

カメラ

ビジュアルコミュニケーションカメラ VIZCAM 1000 (Canon) - 標準価格 ¥78,000

カメラヘッド部を手動で回転させることにより、机上のドキュメントや立体物はもちろん、人物の撮影も行えるので、デスクトップTV会議用の映像入力機器として利用できます。(約41万画素)

可動式カメラ EVI - D100 (SONY) - オープン価格

相手側に接続しておくと、TelePort(または他のギンガネット電話)のリモコンを使って、カメラの方向転換・ズームの調節が行えます。相手のカメラを操作してご自分の見たい映像を映すことができるので、テレビ会議等で活躍します。(約38万画素)

広角カメラ - オープン価格

広角レンズを搭載。画角が広く、固定したまま中規模ミーティング(3~5人)に使用する最適なカメラです。

その他、お持ちのデジタルカメラやビデオカメラ等の映像機器を接続することも可能です。

詳しくはギンガネットセンター(06 7688 1010)へお問い合わせください。

マイク・ヘッドセット・スピーカー

両耳ヘッドセット (TelePort 301 / TelePort 301G用) - 標準価格 ¥9,800

片耳ヘッドセット (TelePort 301 / TelePort 301G用) - 標準価格 ¥9,800

ヘッドセット分配器 (GINGANET) - 標準価格 ¥34,800

ヘッドセットを最大4つまで接続することができます。本体左横の差込口と合わせて、TelePort 1台につき最大5人までギンガネット電話を利用することができます。

スピーカーマイク DIATONE HP-1 (三菱電機) - 標準価格 ¥39,800

2~4人用のスピーカー兼ハンズフリーマイクです。エコーサプレッサ機能搭載。

スピーカーマイク Voice Point IP (NEC) - 標準価格 ¥148,000

大人数用のスピーカー兼ハンズフリーマイクです。会議室の広さ、会議参加人数に応じた設定が可能で、非常に高品質な音声で会議ができます。エコーキャンセラ機能搭載。

TelePortとの接続には別途テレビ電話端末接続ケーブル(AEC-60-C6)が必要です。- 標準価格 ¥10,000

バウンダリマイク (audio - technica) - 標準価格 ¥348,000

5~10人用。テーブルに配置するタイプの小型マイクです。

赤外線マイクロフォン(2本セット) (audio - technica) - 標準価格 ¥234,900

10人以上の会議やイベントに適しています。

価格は全て税別です。(2003年3月現在)

その他各種オプションを取り揃えております。詳しくはギンガネットセンター(06 7688 1010)までお問い合わせ下さい。

5 主な仕様

回線

適用回線	NTT INS ネット64 ISDN回線
伝送速度	2B (2 × 64kbps)、B (64kbps)

映像

カメラ	内蔵CCDカメラ、アイレベルにセット可能
動画フレーム	最大30フレーム/秒

静止画

画素数	704 × 576
符号化方式	ITU-T勧告H.261 Annex D (4CIF)

音声部

ヘッドセット入力	エレクトレットコンデンサ型マイク
ヘッドセット出力	ダイナミックスピーカー
符号化方式	3.4kHz帯域: G.711 (56kbps)、G.728 (16kbps) 7kHz帯域: G.722 (48kbps)
リップシンク機能	ON/OFFが可能(音声遅延で選択可能)
ミュート機能	有り(マイクオフで切替可能)
その他	電話/携帯電話との通話可能

制御ポート

入出力ポート数	1ポート
コネクタ	DIN8ピン
速度	1.2/2.4/4.8/9.6/19.2/38.4 kbps
同期方式	調歩同期

画面表示

モニタ	別途。NTSC信号に対応のこと。
ビクチャーインビクチャー(子画面)	送信ビデオ/受信ビデオ/静止画表示 4ポジション選択可
出力ビデオ切替	送信ビデオプレビュー/ 受信動画像 / 受信静止画(送信した静止画をプレビューすることが可能) 受信動画像・静止画像同時表示
入力ビデオ切替	内蔵カメラ映像 / 外部入力映像(カメラ2で表示可能)
オンスクリーンメニュー表示(OSD)	回線接続、会議制御などのメニューを画面上に表示

制御機能

着信モード設定	手動着信 / 自動着信 発信者チェック(短縮ダイヤルリスト以外からの着信を自動的に拒否する)
発信番号規制	発信できる条件を設定し、条件を満たさない発呼を拒否する。条件例・短縮ダイヤル以外の発信禁止・特定ダイヤル発信禁止(例: 先頭ダイヤルが01...等)
保守機能	リモートダウンロード機能・ループバック診断機能

備考

ワンタッチ通信ボタン	リモコンを使わずに、任意の接続先と回線接続・着信・切断が可能
動作環境	温度: 5 ~ 35℃ / 湿度: 20 ~ 80% 結露無きこと、室内事務所環境程度
外形(サイズ)	330(W) × 170(D) × 66mm(H) (カメラ格納時)
重量	2.5kg以下
消費電力	最大約30W(待機中11.5W)
技術基準適合認定番号	C00 - 1146JP

TelePort 301 / TelePort 301G ハードウェア保証規定

本取扱説明書の注意書き及び付属の説明書に従った使用状態で、本製品が保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。

品名：総合デジタル通信端末 型番：GN301D-TP 保証期間：製品出荷日より1年間

製品の出荷日は、製品の送り状をご覧ください。
お客様がギンガネット正規販売店頭で製品をお買い上げの場合、製品のお渡し日を以って出荷日とさせていただきます。

修理方法

株式会社ギンガネット(以下「当社」とする)正規保守サービス宛に製品をご発送下さい。修理交換後、お客様へご返送致します。
ご発送頂く前に、ご相談窓口へお問い合わせ下さい。当社指定のエンジニアが修理の必要を判断させていただきます。

ギンガネット正規保守サービス窓口

お客様のギンガネットクラブ会員番号をお調べの上、06-7688-1717(ギンガネットテクニカルサポート)へご連絡下さい。

費用について

修理費：本保証規定内-無料

保証期間外-有料(修理内容により異なる)

輸送費：保証期間を問わずお客様負担

修理のために製品を輸送する際の往復の輸送費用および保険費用はお客様の負担とし、輸送中に当社の責めによらずに製品が滅失した場合には、当社は責任を負いません。

保証対象

当社は、ギンガネット専用端末について、保証期間中通常の使用条件の下で材質または製造上の欠陥がない事を保証致します。
この保証はハードウェアに関するものであり、何らかのネットワークサービスの利用を保証するものではありません。

プログラム、データの使用或いは誤用による損害または損失についての責任を負いません。

消耗品(電池・マジックテープ・マイクカバー等)については保証の対象になりません。

保証方法

当社は当社修理規定に準じ、保証期間中は無料で不良部品を修理又は同等品と交換します。(交換された旧部品は当社の所有となります)

保証期間内でも、次の場合には原則として有料にさせていただきます。

(a)製品をギンガネット正規販売店以外より購入された場合 (b)製品が故意あるいは不慮の事故により故障した場合。例)本体を落とした・本体に液体が入った・本体にホコリがたまった・ケーブルをはさんだ、もしくは引っ掛けた、等。 (c)製品の試用または濫用 (d)説明書の説明や注意に反する使用 (e)当社指定以外の部品の使用 (f)製品の改造、当社が規定しない設定変更 (g)ギンガネット正規保守サービス以外による保守サービス (h)火災、落雷、地震、津波、洪水等の天変地異 (i)電圧異常などの外部要因に起因する故障及び損傷 (j)戦争、内乱、テロその他これらの類似の事変または暴動 (k)放射性物質もしくは放射性物質によって汚染された物の放射性、爆発性その他の有害な特性またはこれら特性による事故

当社はこの保証規定に明示の規定を除く一切の明示または黙示の保証(特定の目的のための商品または適合性に関する黙示の保証を含む)を
するものではありません。当社はこの保証規定に記載されたもの以外の一切の保証を否認します。法により黙示の保証が適用される場合もこの保証規定に明示された物に限られます。

保証期間経過後の修理について

この保証規定は、規定内で明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証規定によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、ギンガネット正規保守サービスへお問い合わせ下さい。お客様のギンガネットクラブ会員番号をお調べの上、06-7688-1717(ギンガネットテクニカルサポート)までご相談下さい。

本規定は、日本国内においてのみ有効です。



株式会社ギンガネット

〒556-0017 大阪市浪速区湊町1-4-38

テクニカルサポートダイヤル 06-7688-1717 <平日(月~金)10時~17時>

本規定の内容は予告無く変更される事があります。